

問 12. あなたの生活全体に対する実感について、お気持ちをお聞きます。

総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。

（１）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 68.3%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 22.5%となっている。

（２）年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 80.4%（うち「はい」が 37.8%）と、他の年代と比べて高い。

（３）性別

男女間で大きな差は見られない。

（４）－１ 地域別

すべての地域で『はい』が 6 割を超えている。

（４）－２ 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が 68.5%と、他の住居状況と比べて高い。

（４）－３ 現在の居住地環境別

「田や畑など農地が多く集まっている地域」「山間地域」では『はい』が 6 割台と、他の居住地環境と比べて低い。

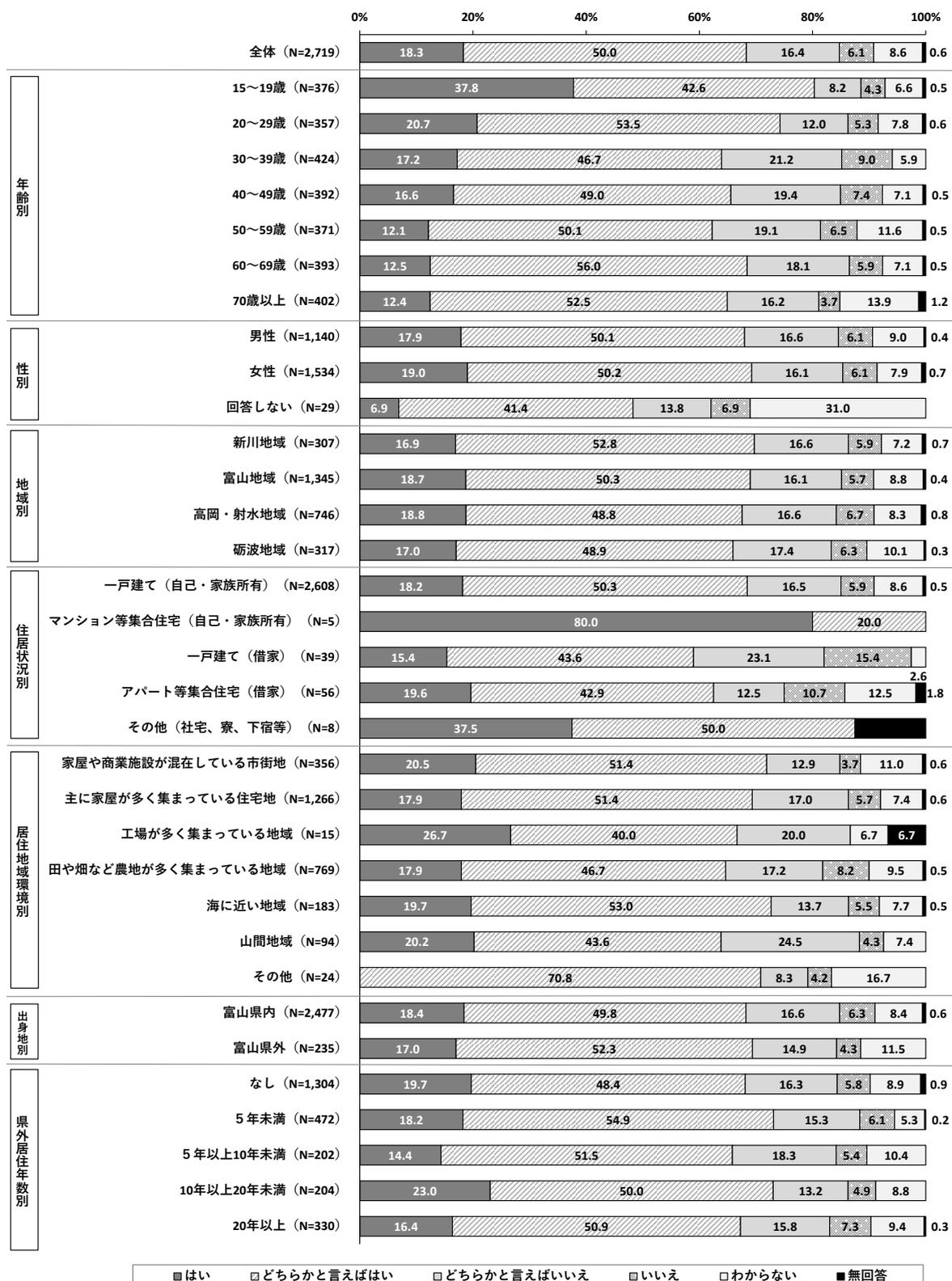
（４）－４ 出身地別

出身地による大きな差は見られない。

（４）－５ 県外での居住年数別

県外居住年数が「5 年未満」「10 年以上 20 年未満」では『はい』が 7 割台と、他の県外居住年数と比べて高い。

図表 12-1 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が60.4%と、他と比べて低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が71.4%と、子どもが「いる」と比べて4.8ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

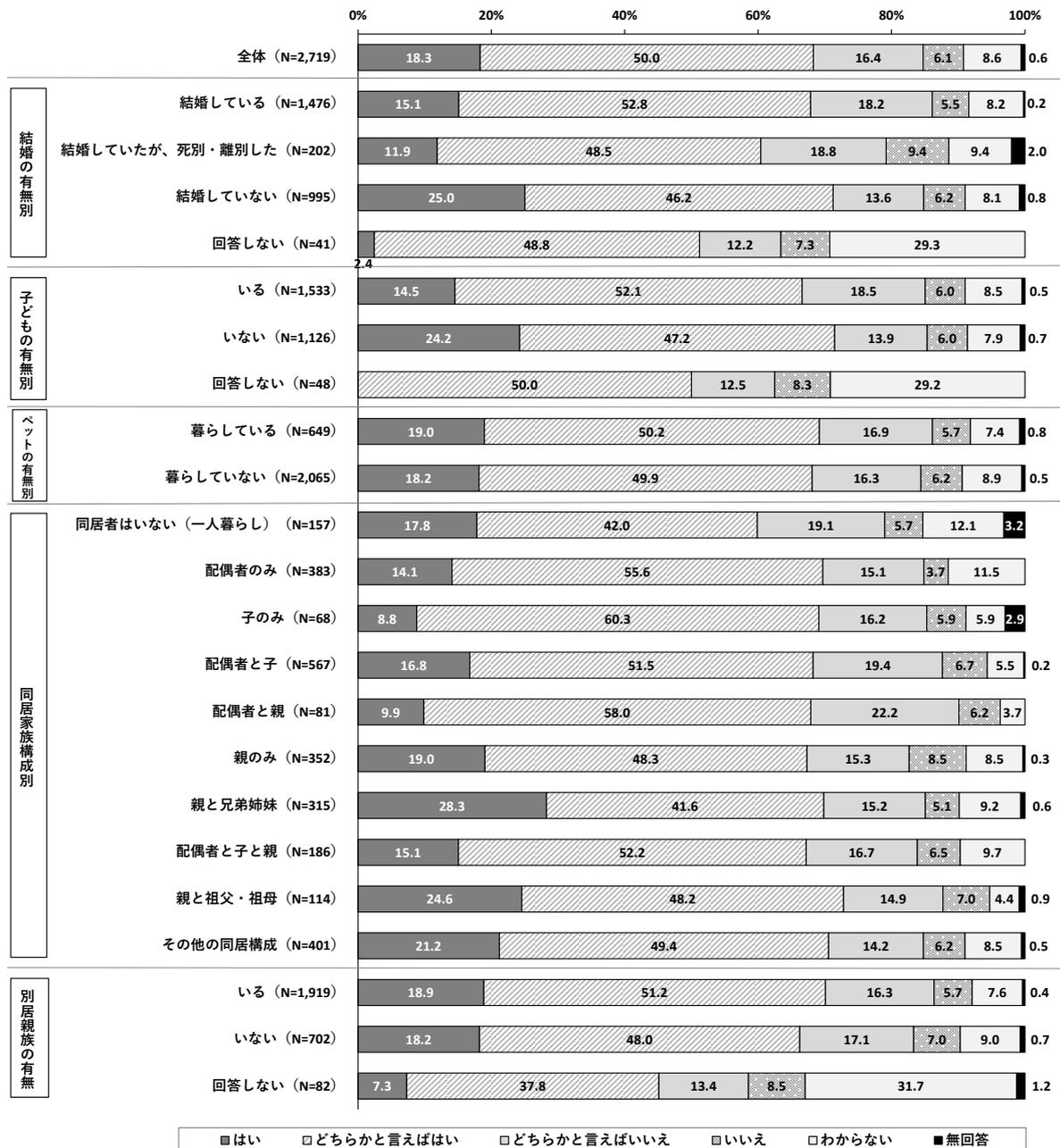
(5) - 4 同居家族の構成別

「同居者はいない(一人暮らし)」を除くすべての同居家族構成で『はい』が6割を超えている。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が70.1%と、別居親族が「いない」よりも3.9ポイント高い。

図表 12-2 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。（家族状況別）



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が80.7%（うち「はい」が36.7%）と、他の職業と比べて高い。一方、「無職」では『はい』が53.9%と、他の職業と比べて低い。

(6) - 2 職業分野別

「生活関連サービス業、娯楽業」「その他」を除くすべての職業分野で、『はい』が6割を超えている。

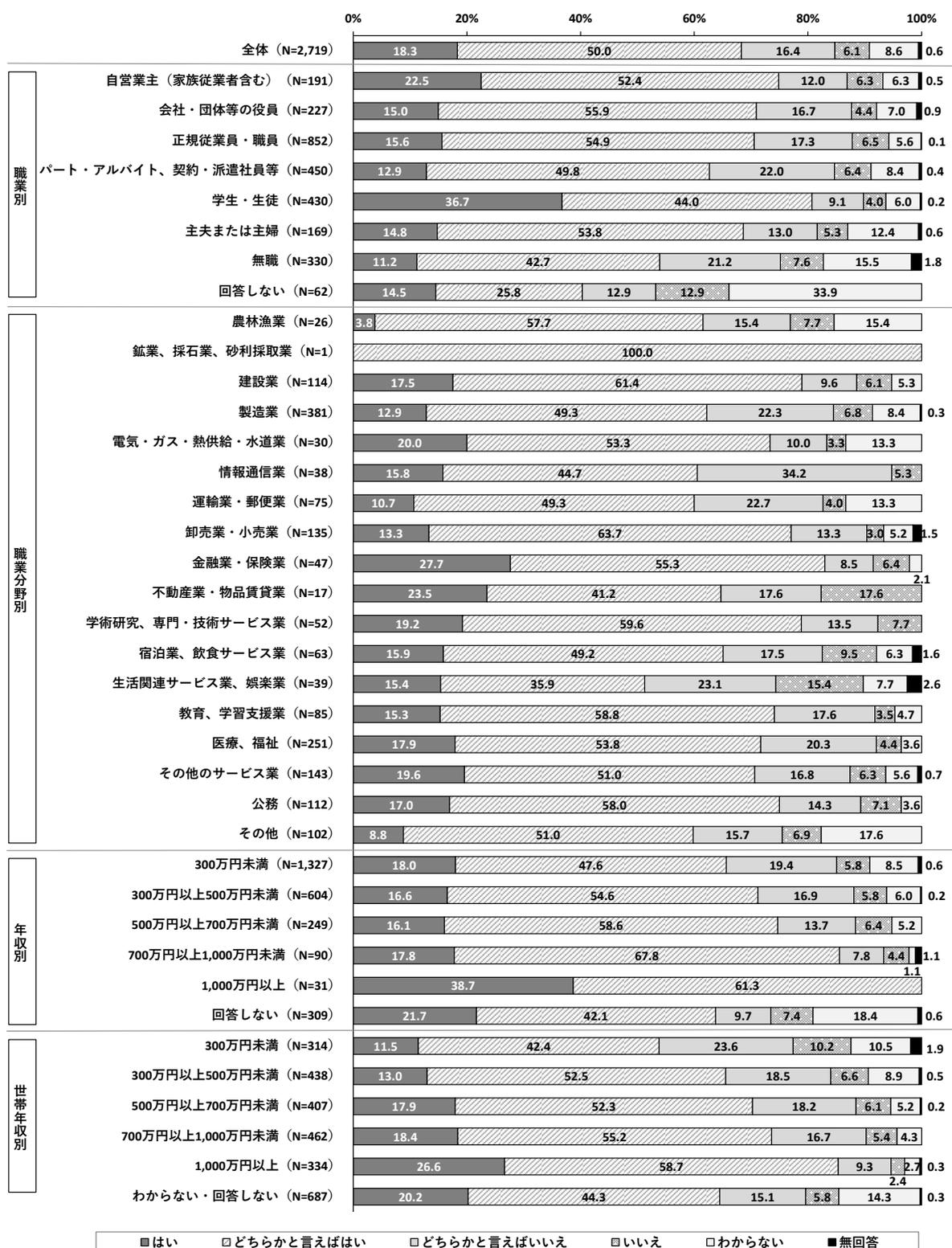
(6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では『はい』が100%となっている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では85.3%を占めている。一方、「300万円未満」では『はい』が53.9%と、他の世帯年収と比べて低い。

図表 12-3 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。（職業・年収別）



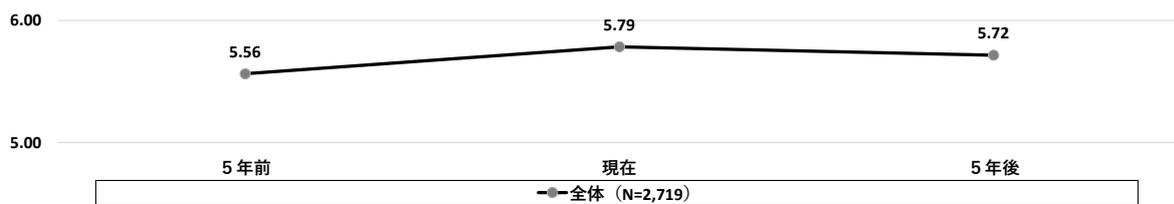
問 13. あなたにとって、最も理想的な生活であると思う状態を「10」、最悪であると思う状態を「0」として、「10」～「0」の11段階で表現すると、
 ①現在、あなた自身は、どの程度の状態であると感じていますか。
 また、②5年前は、どの程度の状態であったと思いますか。
 そして、あなたの想像では、③5年後どういう状態になっていると思いますか。
 それぞれの設問につき1つ、あてはまる段階を選んで○をつけてください。

(1) 全体

【平均】

「5年前」(5.56)から「現在」(5.79)と上向きになったが、「5年後」には5.72と若干下がっている。

図表 13-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(全体)

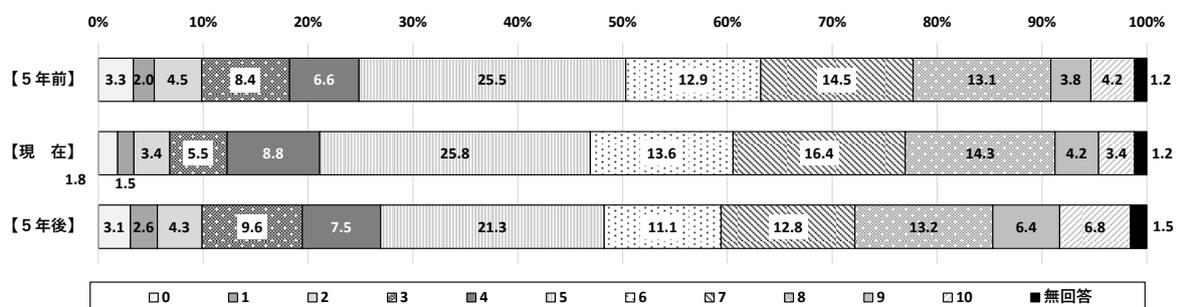


【割合】

「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「5年前」から「現在」にかけて上向くが、「5年後」には下がり50.3%となっている。一方、「4以下」では「5年後」には27.1%と「現在」よりも6.1ポイント高い。

図表 13-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(全体)

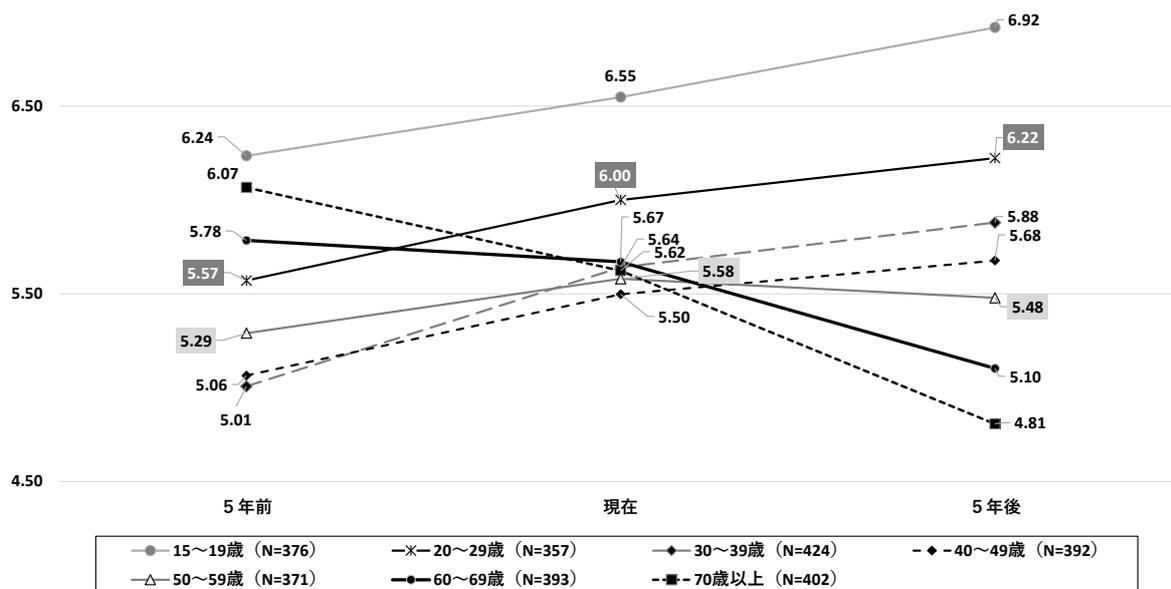


(2) 年齢別

【平均】

「15～19歳」では「5年前」(6.24) から上向き傾向にあり、「5年後」には 6.92 と、他の年代と比べて高い。一方、「70歳以上」では「5年前」(6.07) から下向き傾向にあり、「5年後」には 4.81 と、他の年代と比べて低い。

図表 13-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(年齢別)

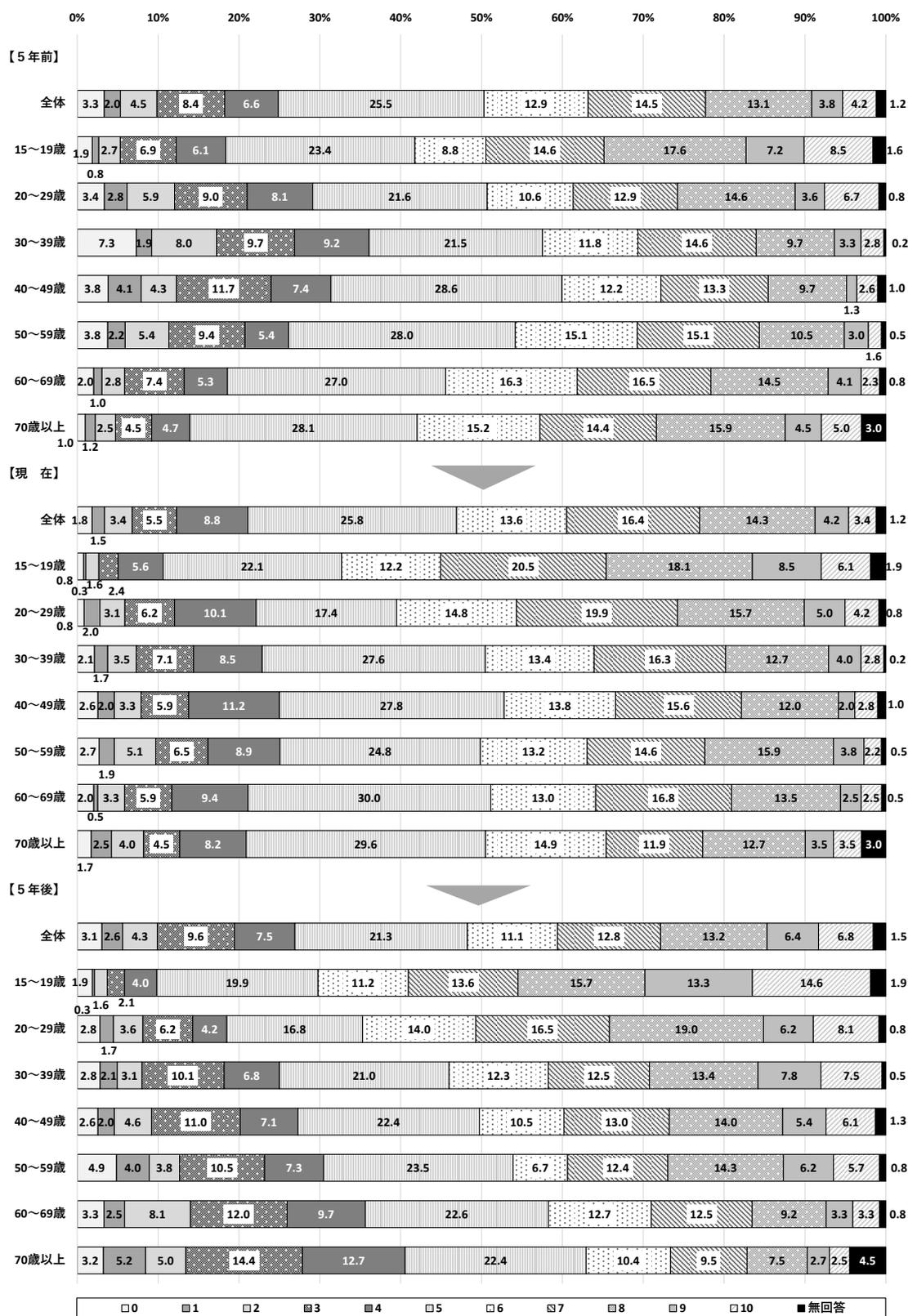


【割合】

「20～29歳」を除くすべての年代で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「5年後」では年代が高くなるにつれ割合が低くなる傾向にあり、「70歳以上」では 32.6%となっている。

図表 13-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（年齢別）

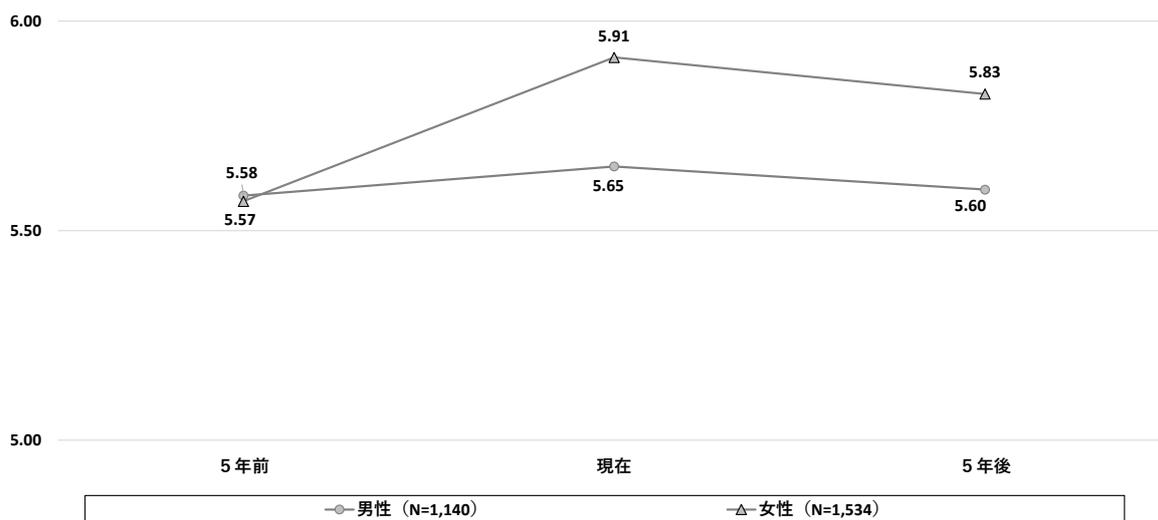


(3) 性別

【平均】

「男性」では、「5年前」(5.58)から「現在」(5.65)と若干上向きになったが、「5年後」には5.60に下がっている。一方、「女性」では「5年前」(5.57)から「現在」(5.91)と、「男性」よりも上がり幅が大きい。

図表 13-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(性別)

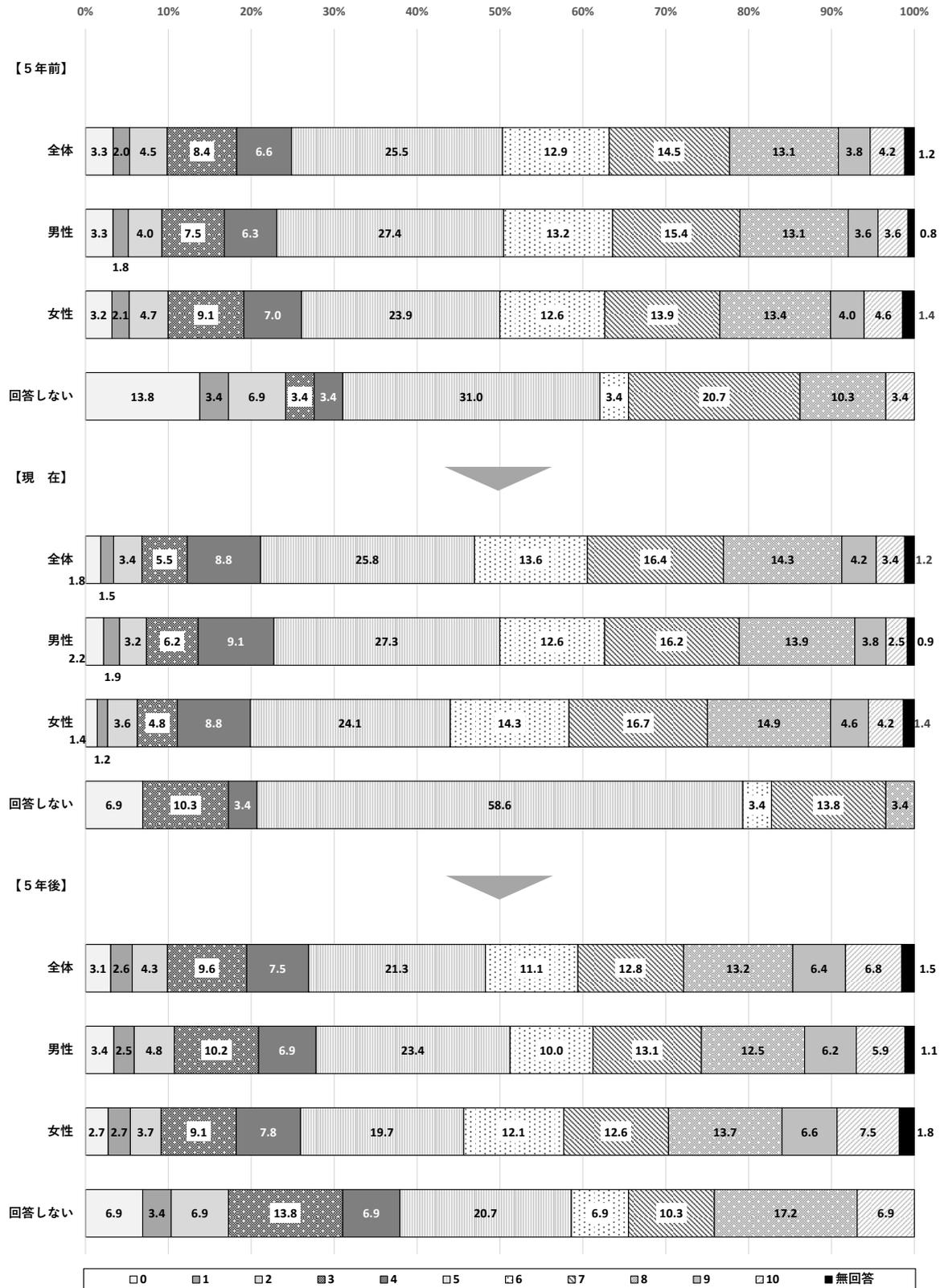


【割合】

男女ともに、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「5年前」では男女間で大きな差は見られないものの、「現在」からは「女性」の方が高くなっており、「5年後」には「女性」が52.5%と、「男性」(47.7%)よりも4.8ポイント高い。

図表 13-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（性別）

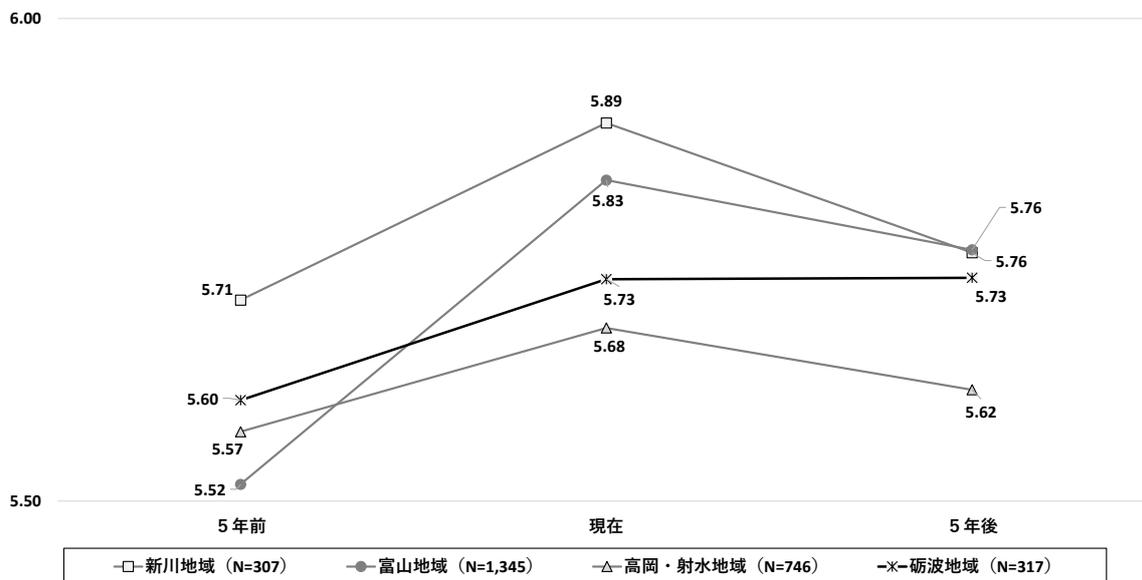


(4) - 1 地域別

【平均】

「砺波地域」はほぼ横ばいで推移しているが、それ以外の地域では「5年前」から「現在」で一旦上がり、「5年後」には下がっている。

図表 13-4-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(地域別)

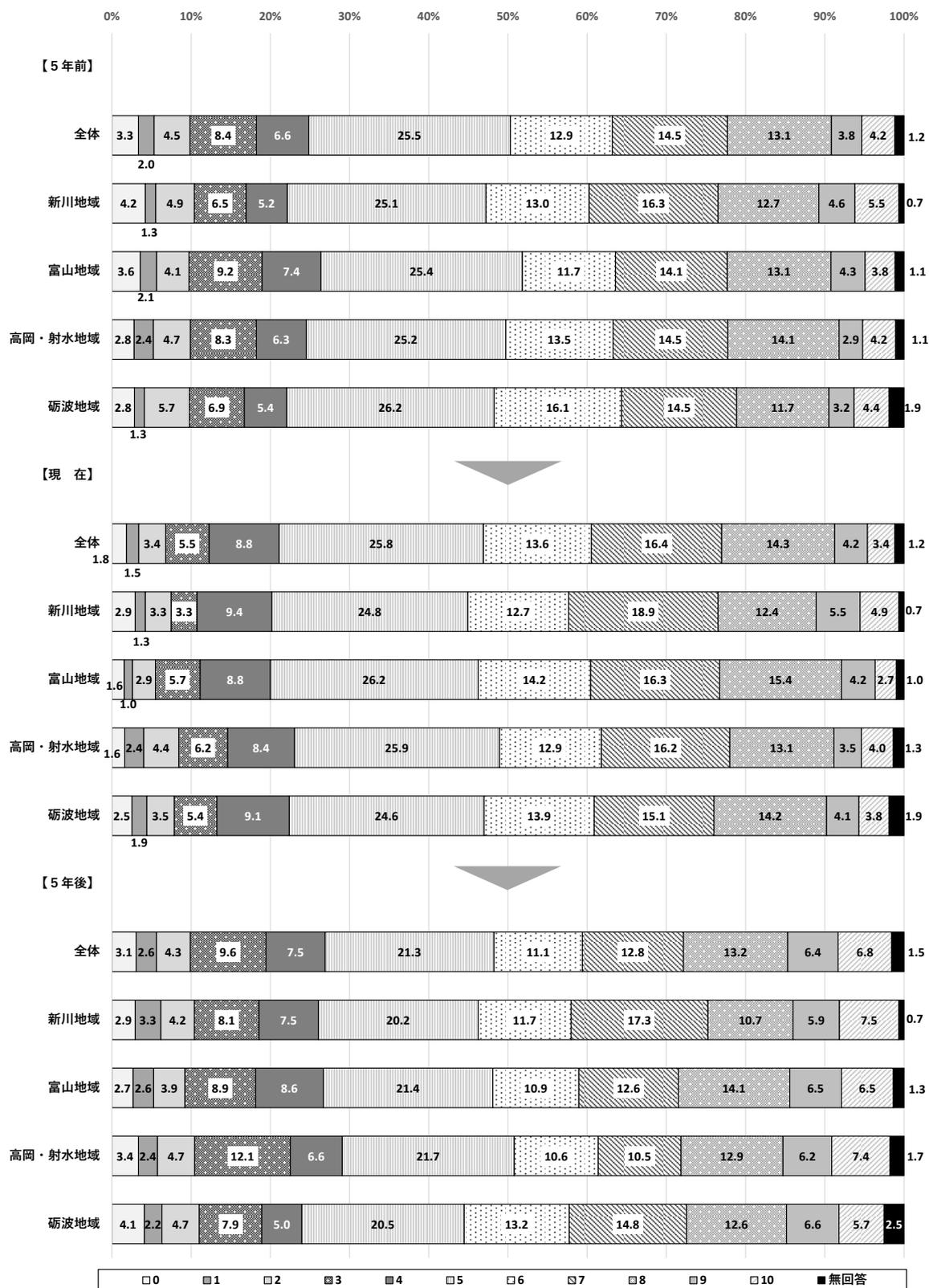


【割合】

すべての地域で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「5年後」の「6以上」を見ると、「高岡・射水地域」では47.6%と、他の地域と比べて低い。

図表 13-4-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（地域別）

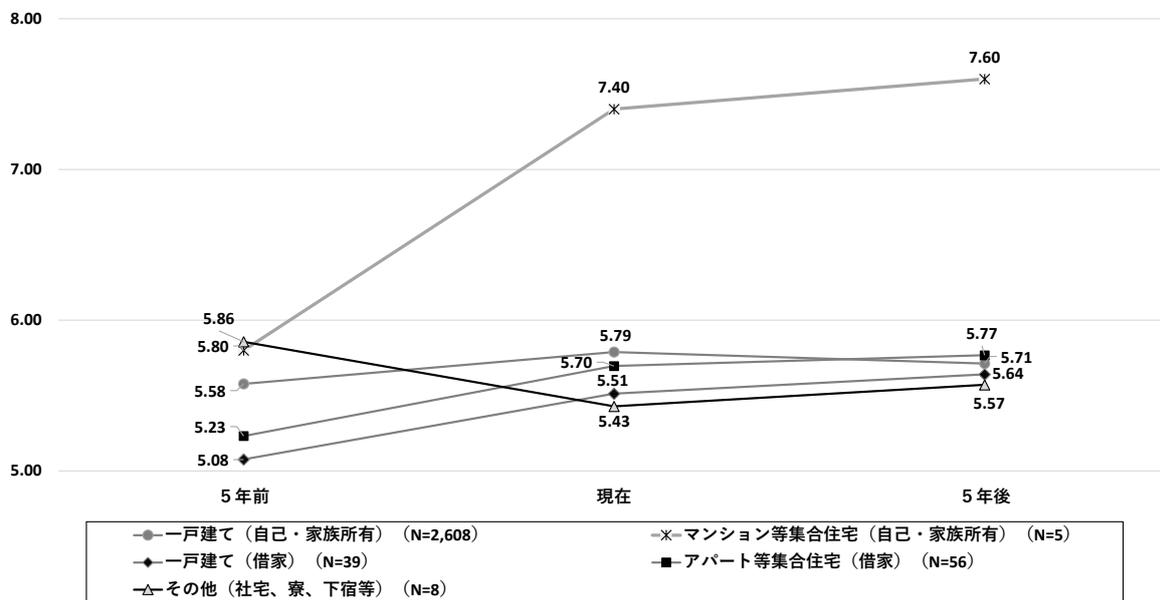


(4) - 2 現在の住居状況別

【平均】

「一戸建て（自己・家族所有）」を除くすべての住居状況で、「5年前」から上向き傾向にある。

図表 13-4-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（現在の住居状況別）

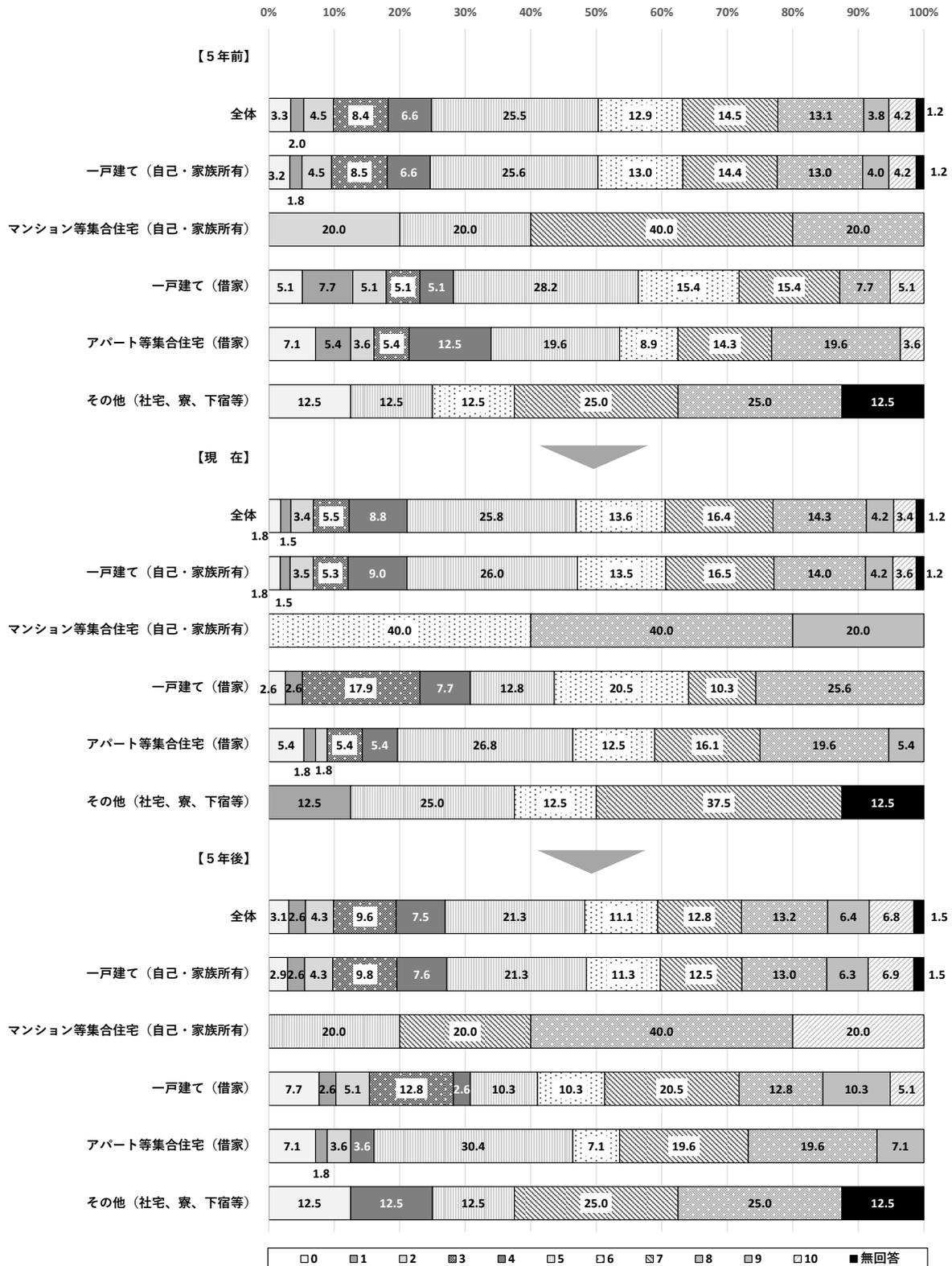


【割合】

すべての住居状況で、「5年前」では「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「一戸建て（借家）」では「5年前」が43.6%、「現在」が56.4%、「5年後」には59.0%と、上向き傾向となっている。

図表 13-4-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（現在の住居状況別）

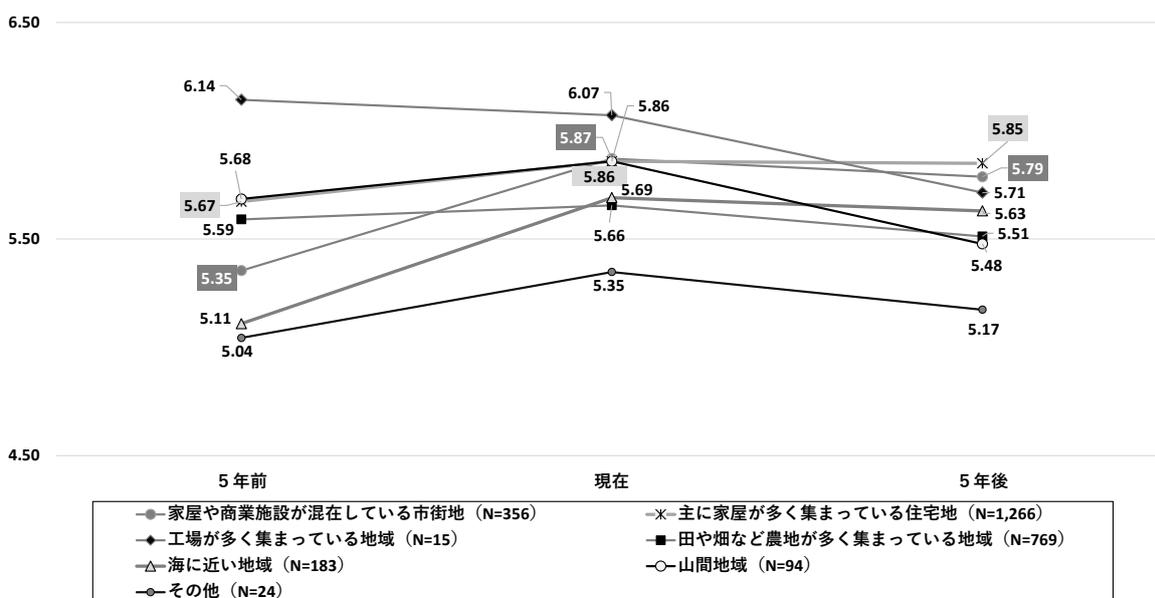


(4) - 3 現在の居住地環境別

【平均】

すべての居住地環境で「5年前」から「現在」で一旦上がるものの、「5年後」には下がっている。

図表 13-4-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(居住地環境別)

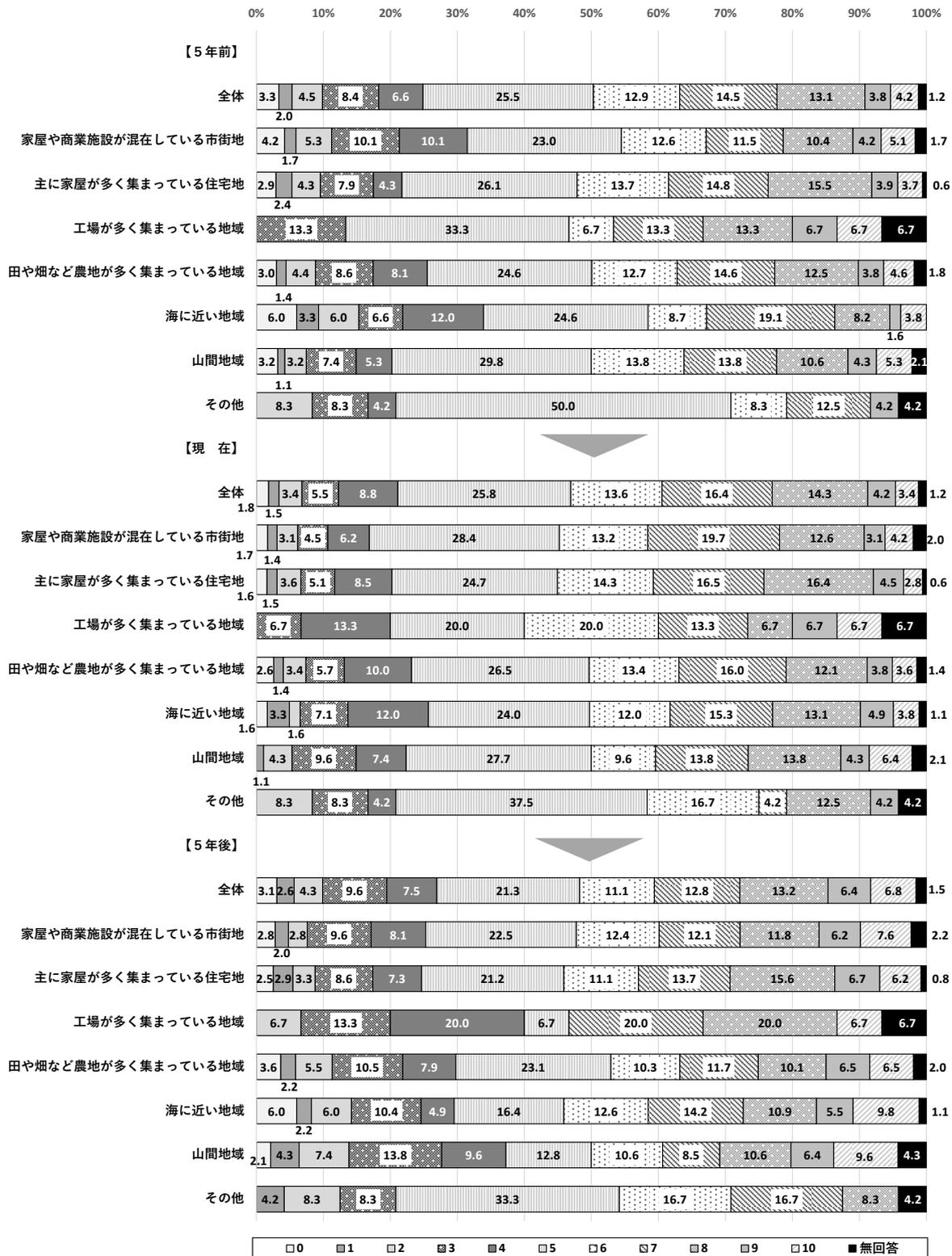


【割合】

すべての居住地環境で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「海に近い地域」では「現在」は49.1%だが、「5年後」には53.0%と、3.9ポイント上がっている。また、「4以下」を見ると、「山間地域」では「現在」は22.4%だが、「5年後」には37.2%と、14.8ポイント高くなっている。

図表 13-4-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（居住地域環境別）

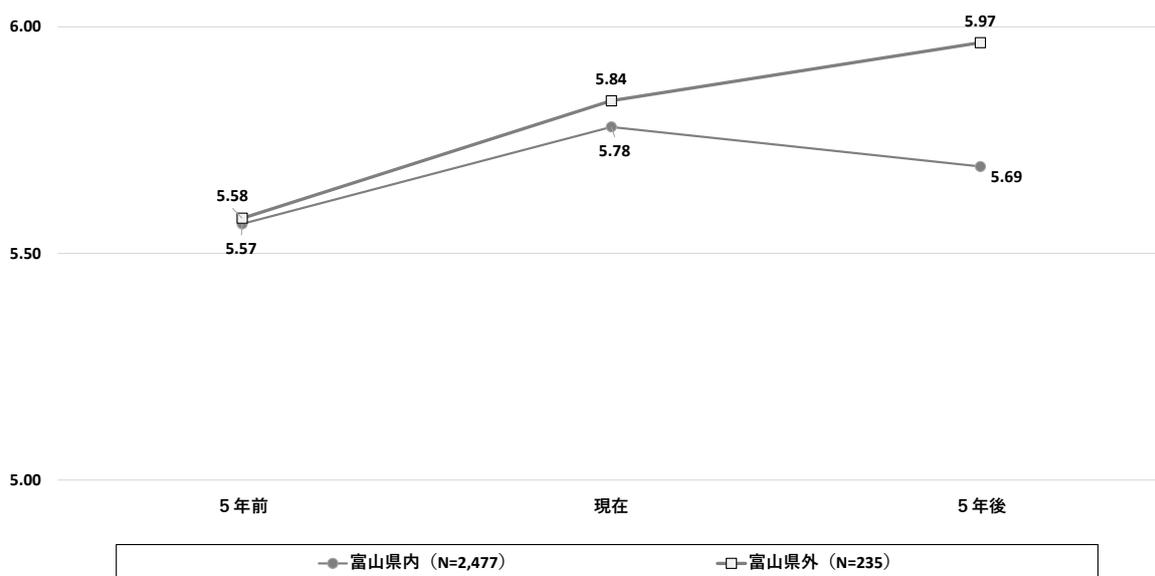


(4) - 4 出身地別

【平均】

「富山県内」「富山県外」とともに、「5年前」から「現在」で上向きになったが、「5年後」に「富山県内」は下がっている。

図表 13-4-4-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(出身地別)

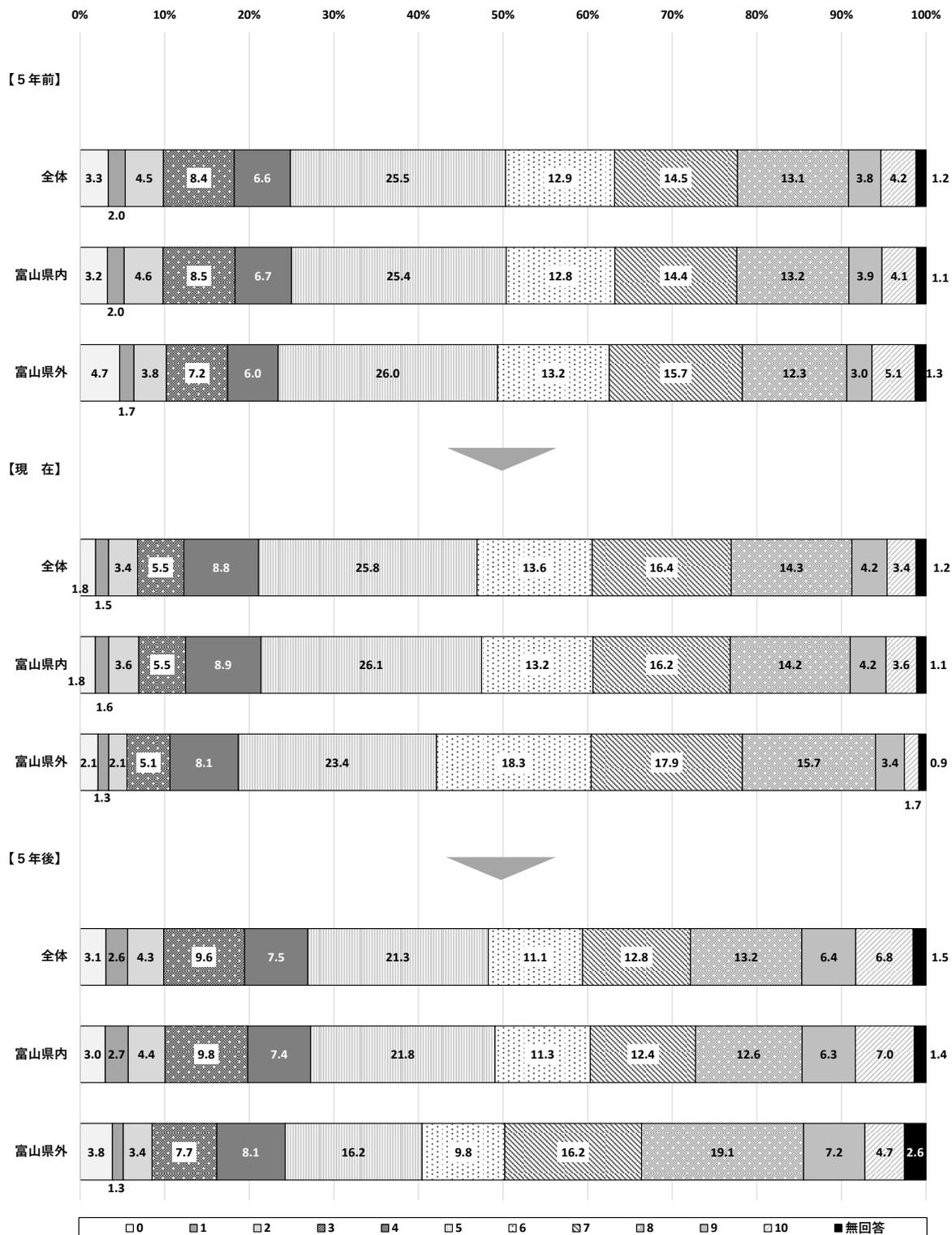


【割合】

「富山県内」「富山県外」とともに、「5年前」「現在」では「5」が最も高い。

「9」「10」を見ると、「富山県内」「富山県外」とともに「現在」よりも「5年後」の方が高くなっている。

図表 13-4-4-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(出身地別)

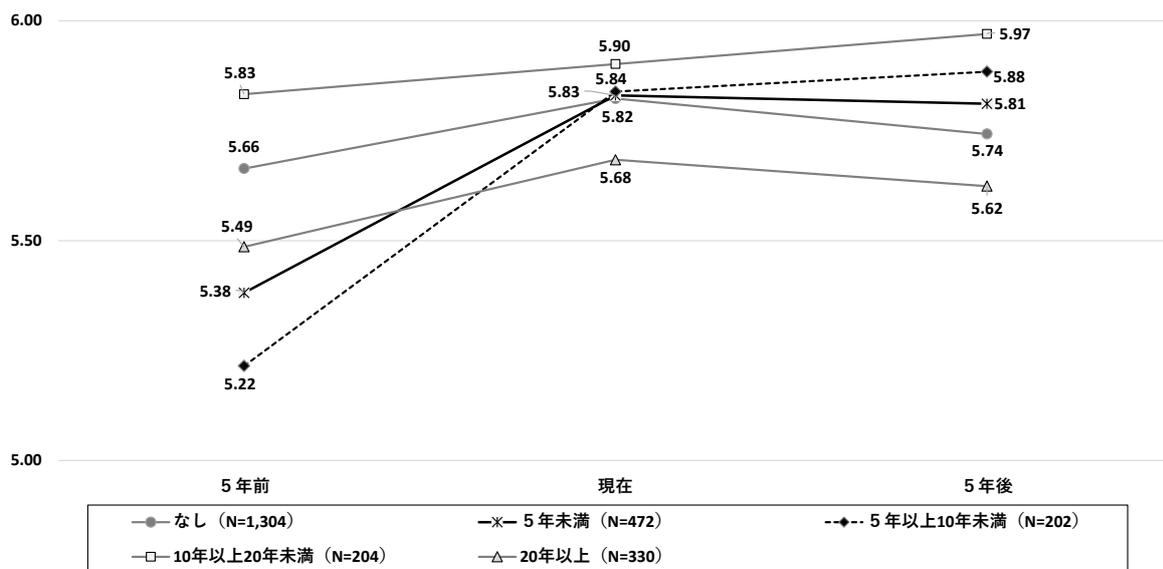


(4) - 5 県外での居住年数別

【平均】

「5年以上10年未満」「10年以上20年未満」では、上向き傾向となっている。一方、県外居住年数が「なし」「20年以上」では、「5年前」よりも「現在」で若干上向きになったが、「5年後」には下がっている。

図表 13-4-5 最も理想的な生活に対する評価【平均】（県外居住年数別）



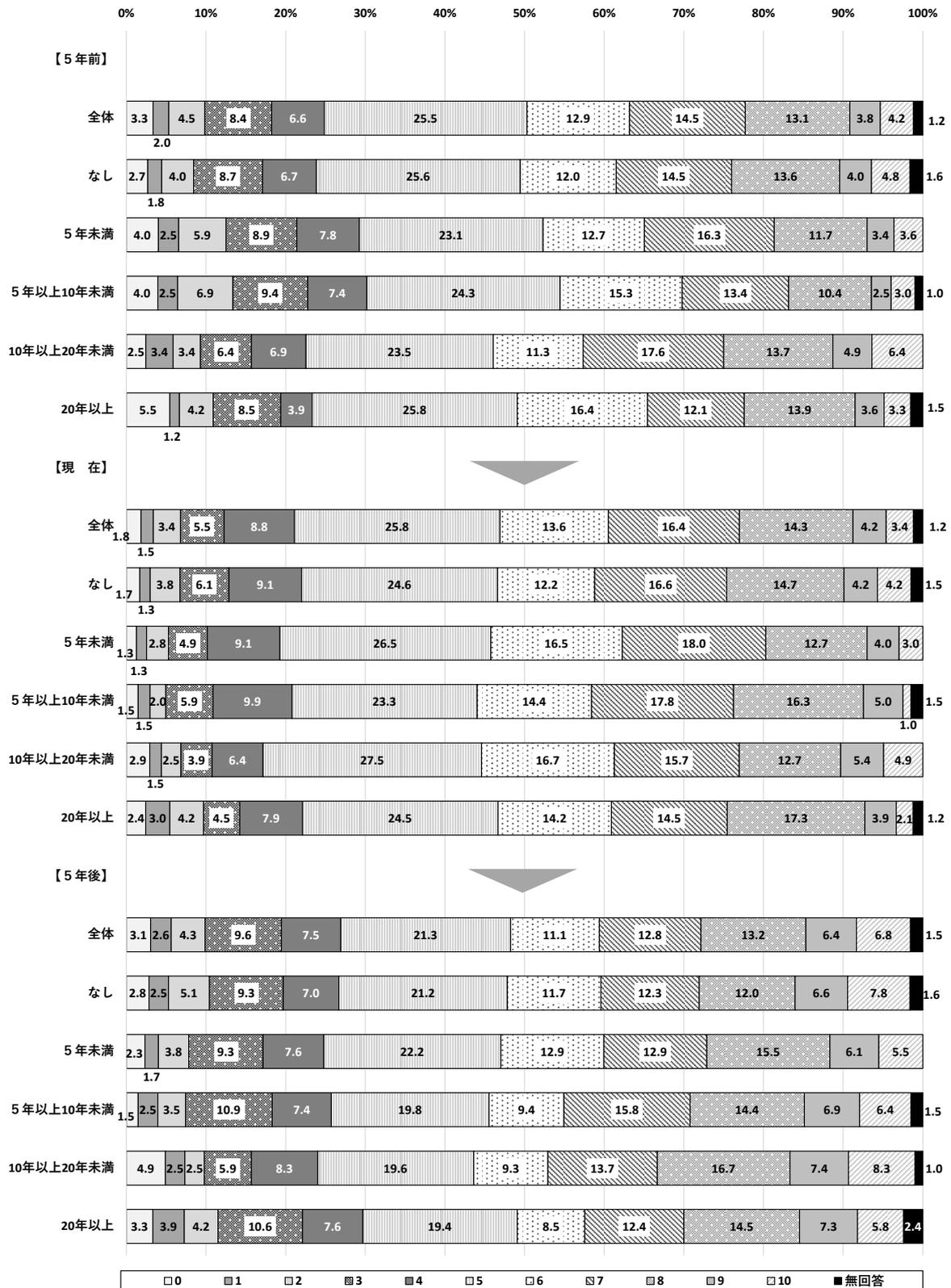
【割合】

すべての居住年数で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「現在」の「6以上」を見ると、すべての居住年数で50%を超えている。

また、「5年後」の「10年以上20年未満」では55.4%と、他の居住年数よりも高くなっている。

図表 13-4-5 最も理想的な生活に対する評価【割合】（県外居住年数別）

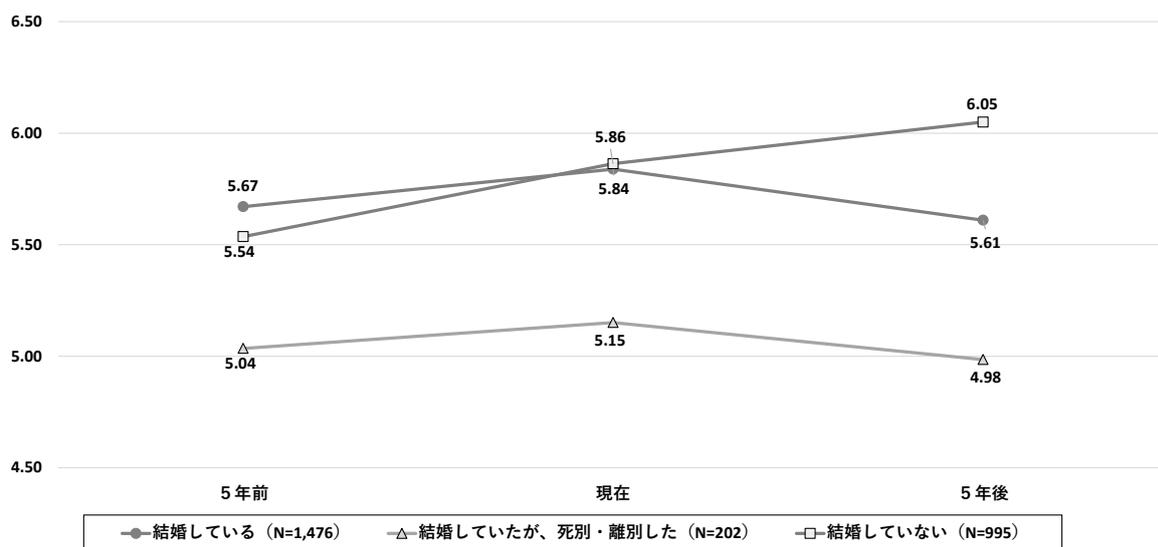


(5) - 1 結婚の有無別

【平均】

「結婚している」「結婚していたが、死別・離別した」では、「現在」よりも「5年後」の方が下がっている。一方、「結婚していない」は上向き傾向にあり、「5年後」には6.05となっている。

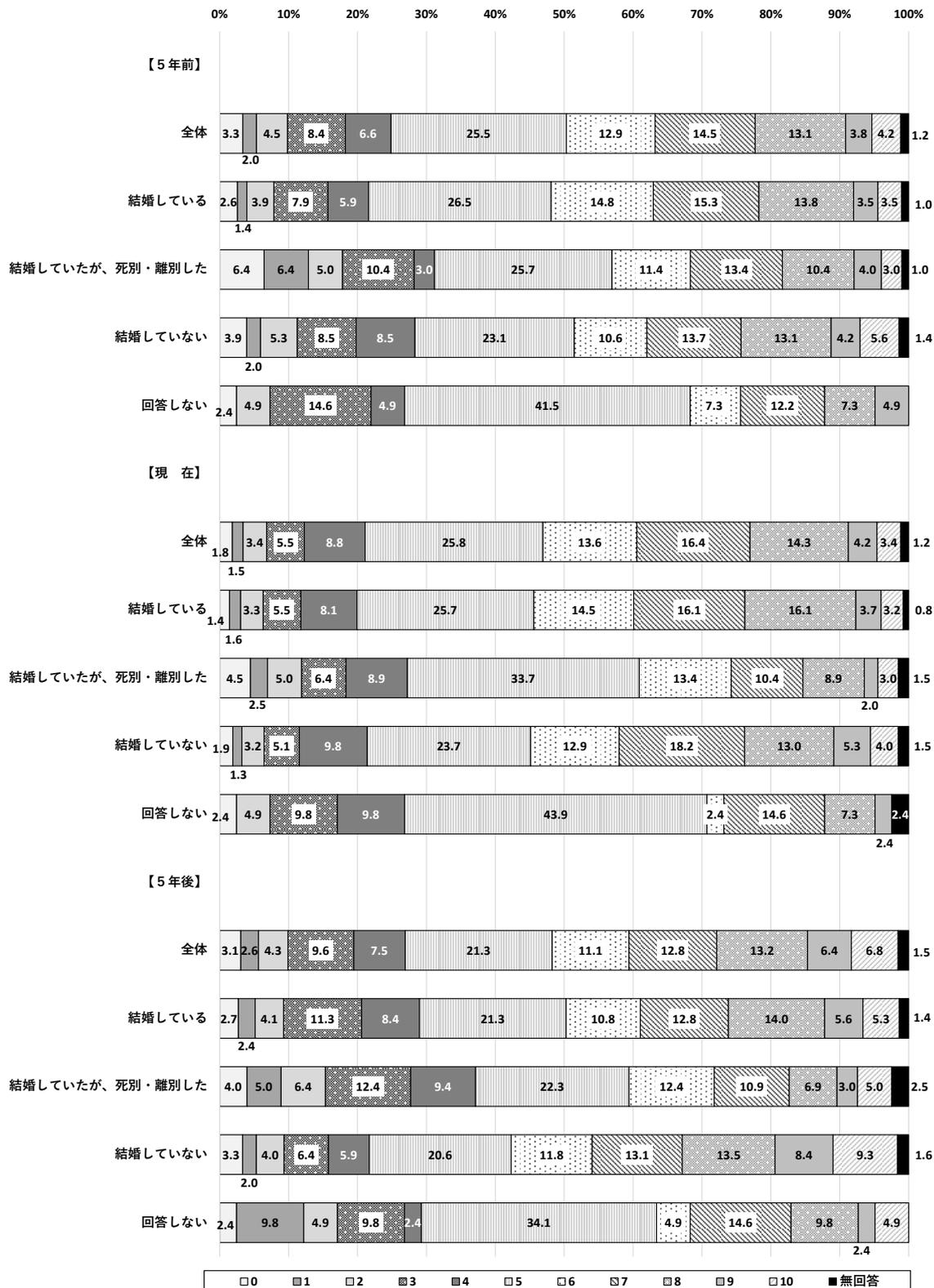
図表 13-5-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(結婚の有無別)



【割合】

結婚の有無に関わらず、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。「5年後」の「6以上」を見ると、「結婚していない」では56.1%を占めている。

図表 13-5-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（結婚の有無別）

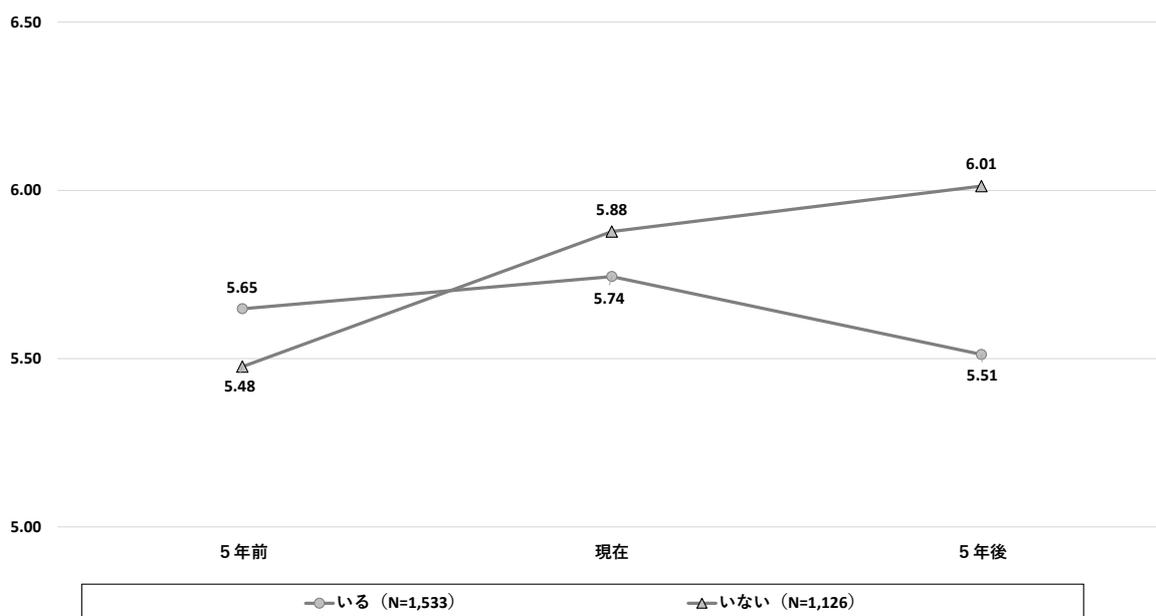


(5) - 2 子どもの有無別

【平均】

子どもが「いる」では、「5年前」から「現在」で一旦上向きになったが、「5年後」には下がっている。一方、子どもが「いない」では上向き傾向にあり、「5年後」には6.01となっている。

図表 13-5-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(子どもの有無別)



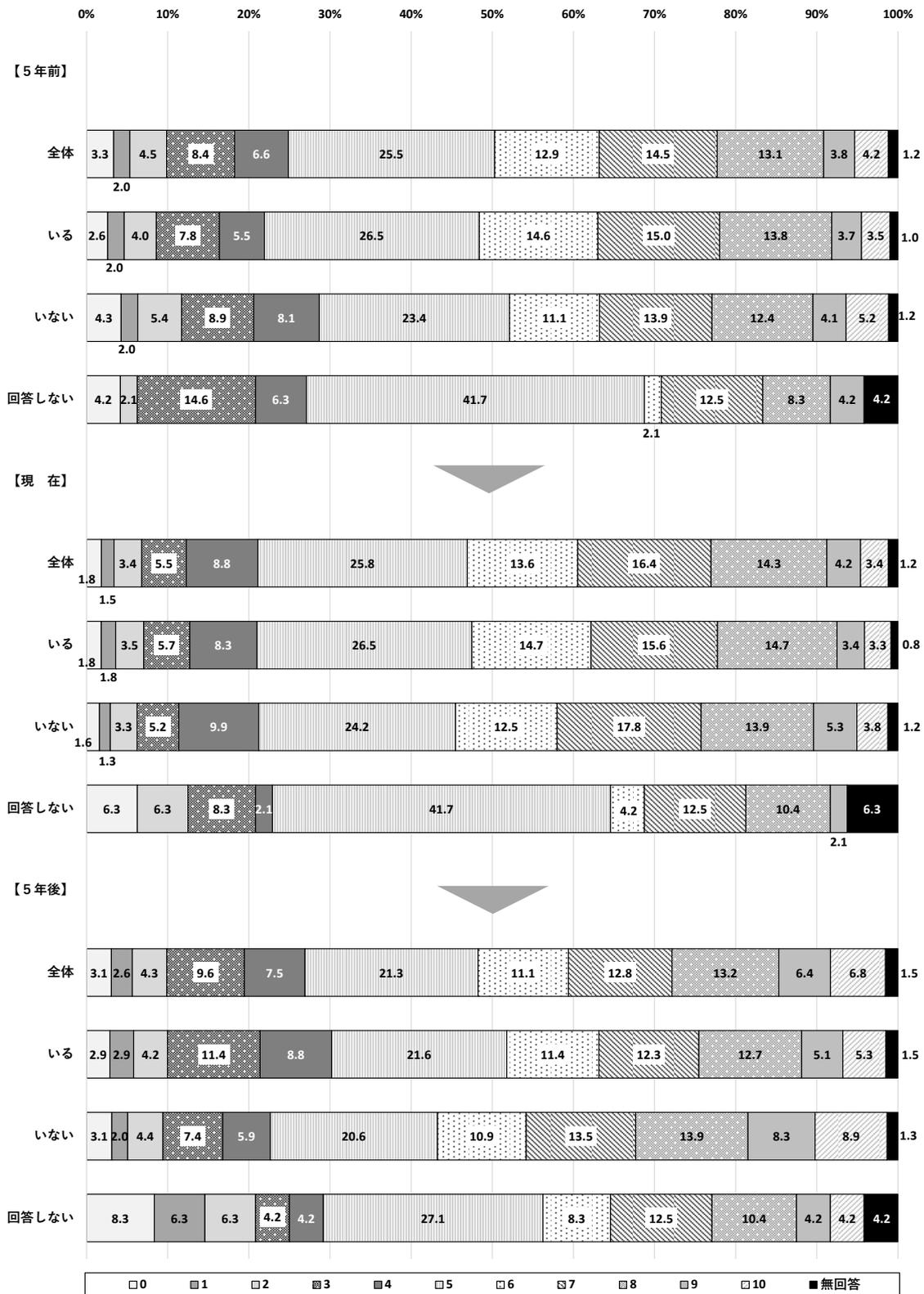
【割合】

子どもの有無に関わらず、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、子どもが「いる」では「現在」は51.7%だが、「5年後」には46.8%と若干下向き傾向にある。

一方、「5年後」の「9」「10」を見ると、子どもが「いない」では17.2%と、「いる」よりも6.8ポイント高い。

図表 13-5-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（子どもの有無別）

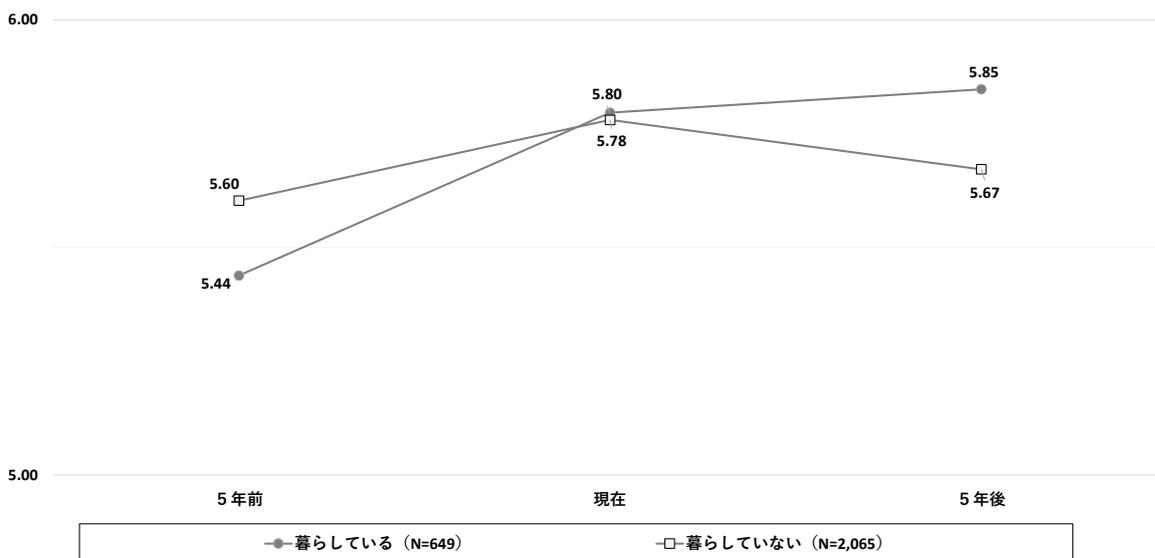


(5) - 3 ペットの有無別

【平均】

「5年後」には、ペットと「暮らしている」「暮らしていない」ともに「5年前」から「現在」で上向きになっている。一方、ペットと「暮らしていない」では「5年後」に5.67と、「現在」よりも下がっている。

図表 13-5-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(ペットの有無別)



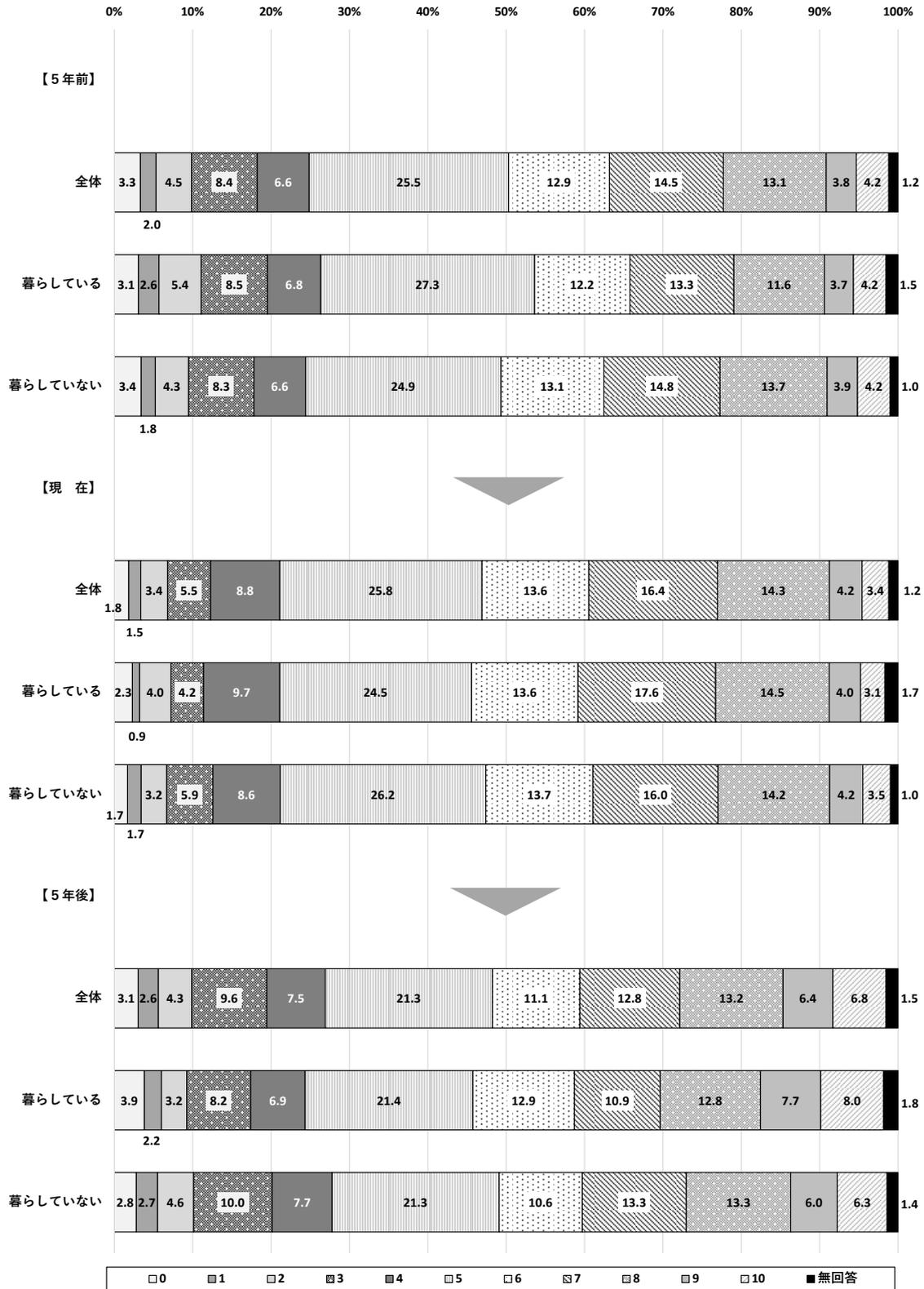
【割合】

ペットと「暮らしている」「暮らしていない」ともに、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、ペットと「暮らしていない」では「5年後」は「現在」よりも低くなっている。

一方、「8以上」を見ると、ペットと「暮らしている」「暮らしていない」ともに、「5年後」が高くなっている。

図表 13-5-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（ペットの有無別）

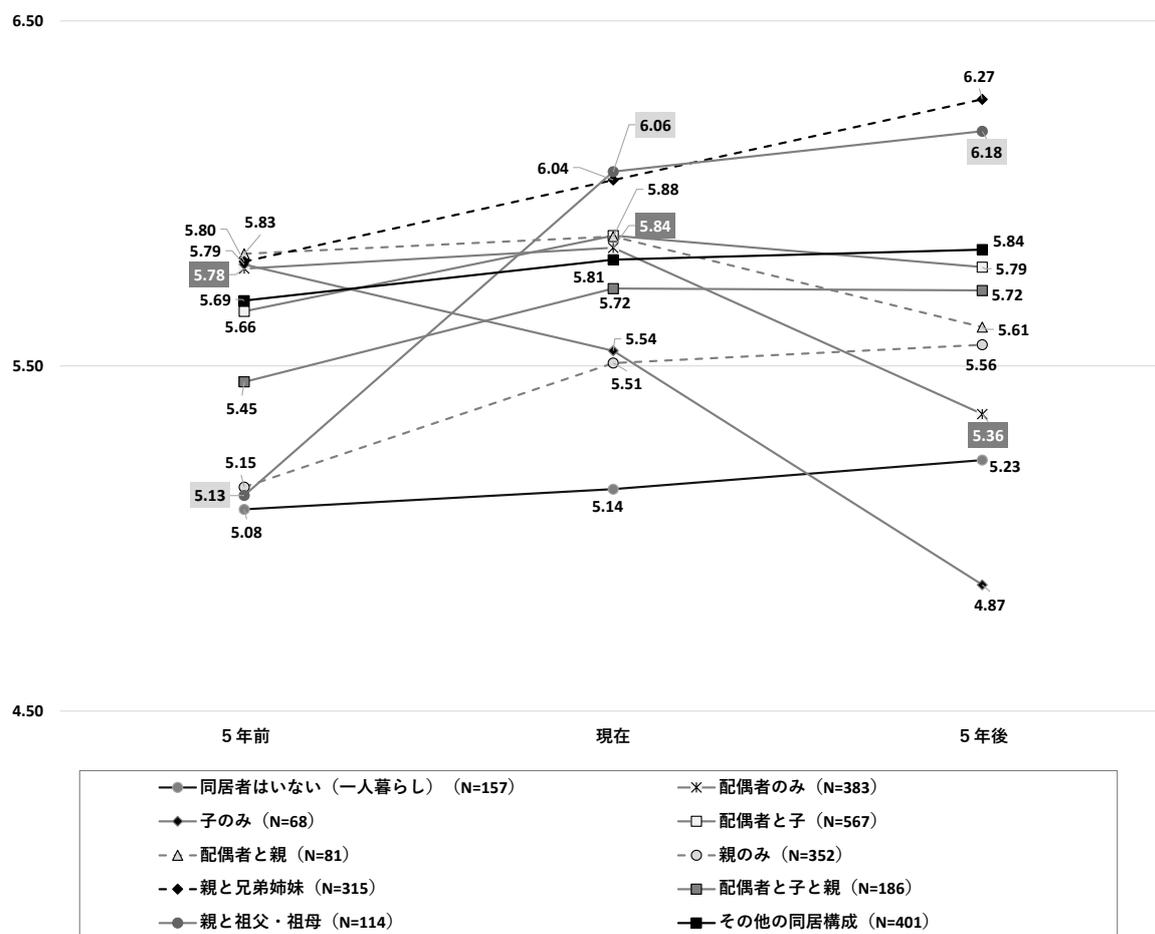


(5) - 4 同居家族の構成別

【平均】

「同居者はいない（一人暮らし）」「親のみ」「親と兄弟姉妹」「配偶者と子と親」「親と祖父・祖母」「その他の同居構成」では、「5年前」から上向き傾向にある。特に、「親と祖父・祖母」では「5年前」(5.13)から「現在」(6.06)、「5年後」には6.18と、他と比べて上がり幅が大きい。一方、「子のみ」では「5年前」(5.79)から「現在」(5.54)、「5年後」には4.87と、他と比べて下がり幅が大きい。

図表 13-5-4-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（同居家族構成別）



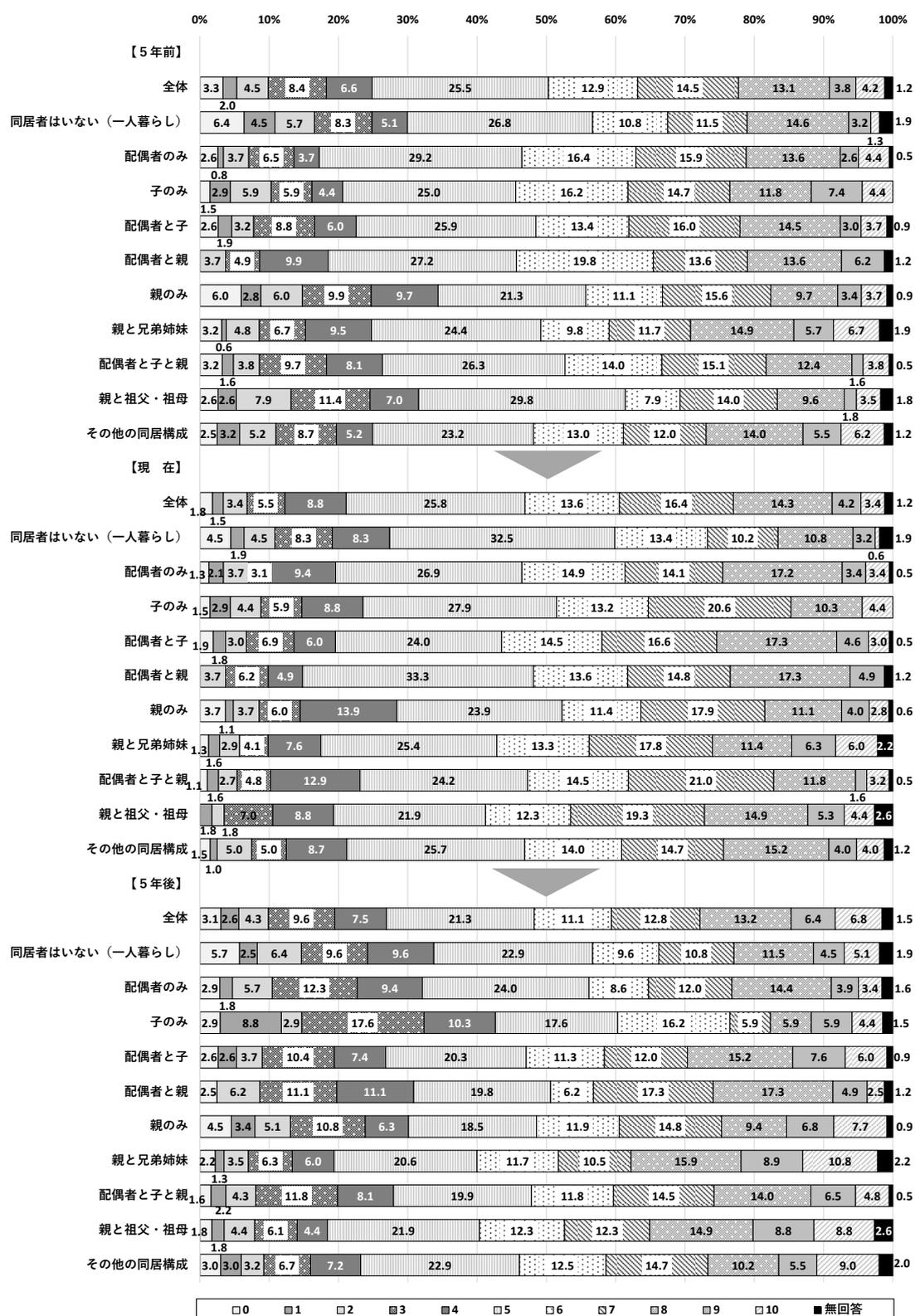
【割合】

すべての同居家族構成で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「配偶者のみ」「子のみ」「配偶者と子」「配偶者と親」では、「現在」よりも「5年後」が低くなっている。

一方、「5年後」の「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」「その他の同居構成」では、「10」が他の同居家族構成と比べて高い。

図表 13-5-4-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（同居家族構成別）

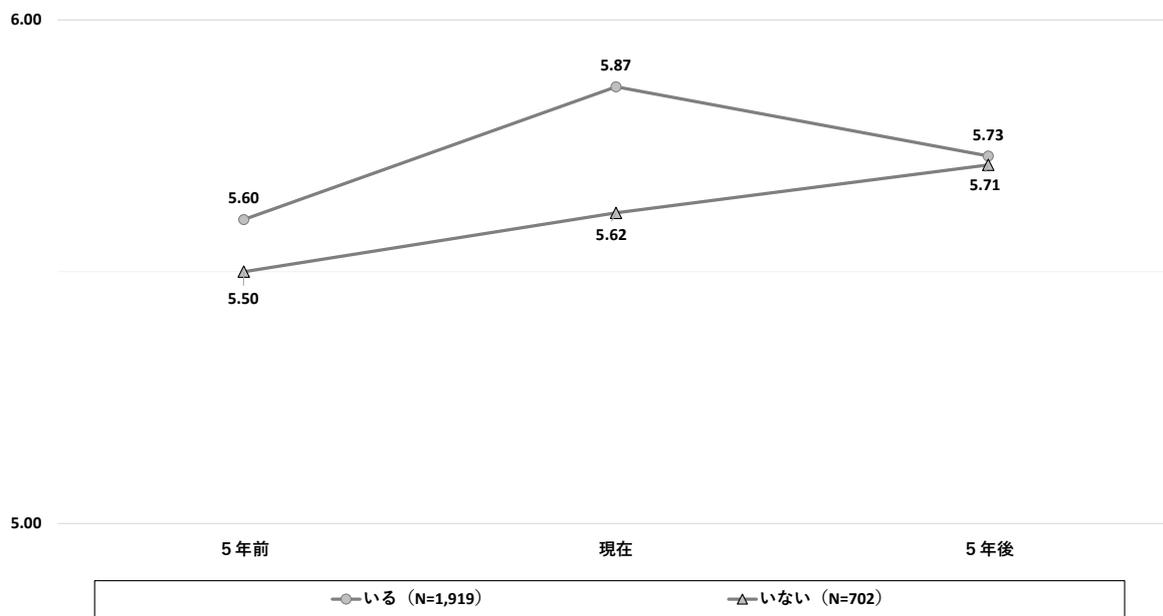


(5) - 5 別居親族の有無

【平均】

別居親族が「いない」では、「5年前」(5.50)から「現在」(5.62)、「5年後」には5.71と、上向き傾向となっている。

図表 13-5-5-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(別居親族の有無別)

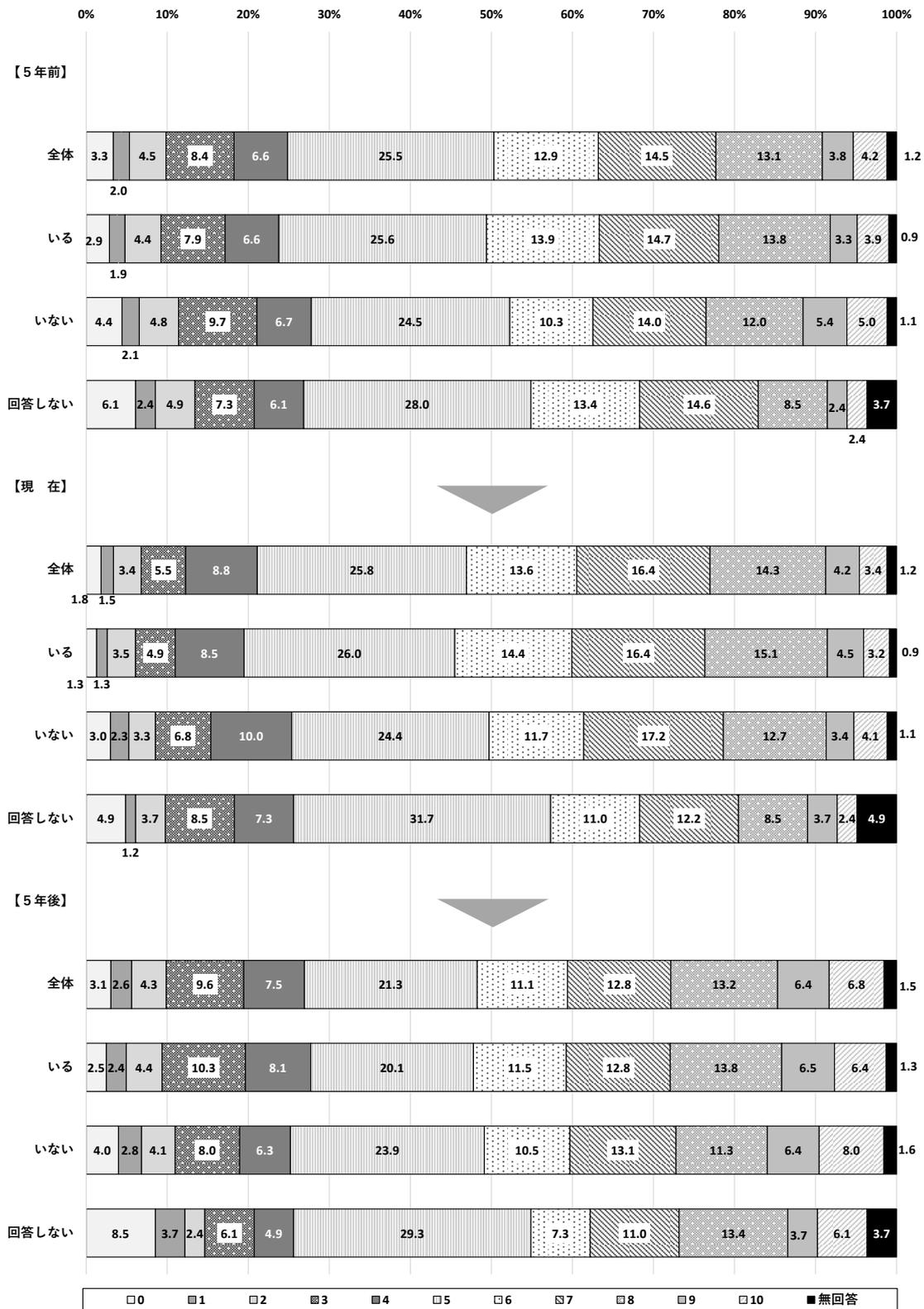


【割合】

別居親族が「いる」「いない」ともに、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「4以下」を見ると、別居親族が「いる」では「現在」は19.5%だが、「5年後」には27.7%と、8.2ポイント高い。

図表 13-5-5-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（別居親族の有無別）

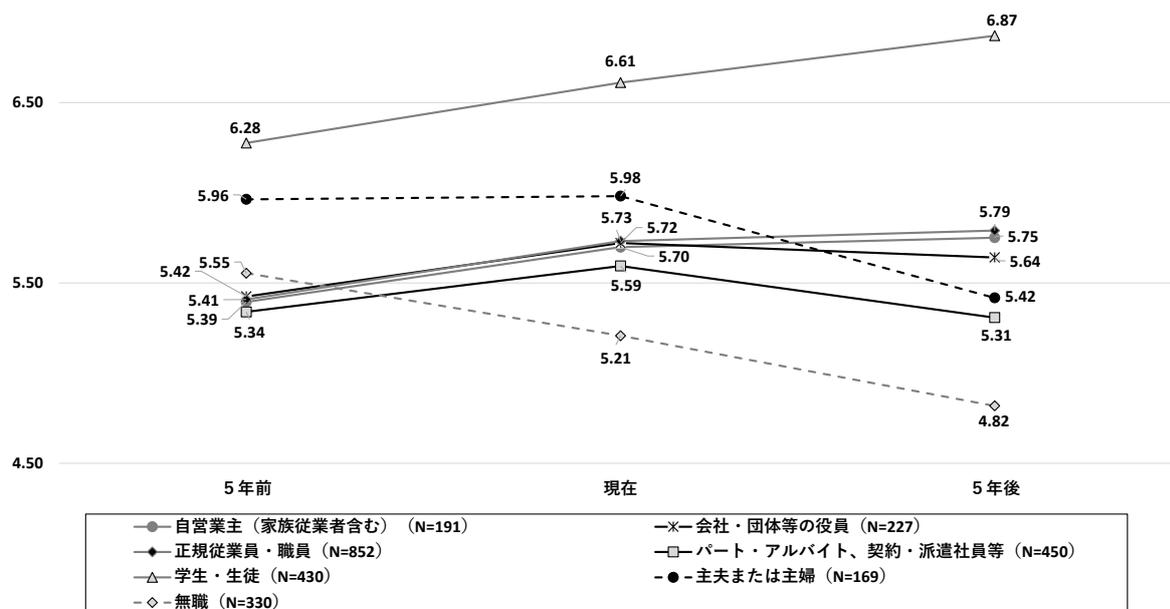


(6) - 1 職業別

【平均】

「学生・生徒」は上向き傾向で、「5年後」には6.87となっている。一方、「無職」は下向き傾向にあり、「5年後」には4.82となっている。

図表 13-6-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(職業別)

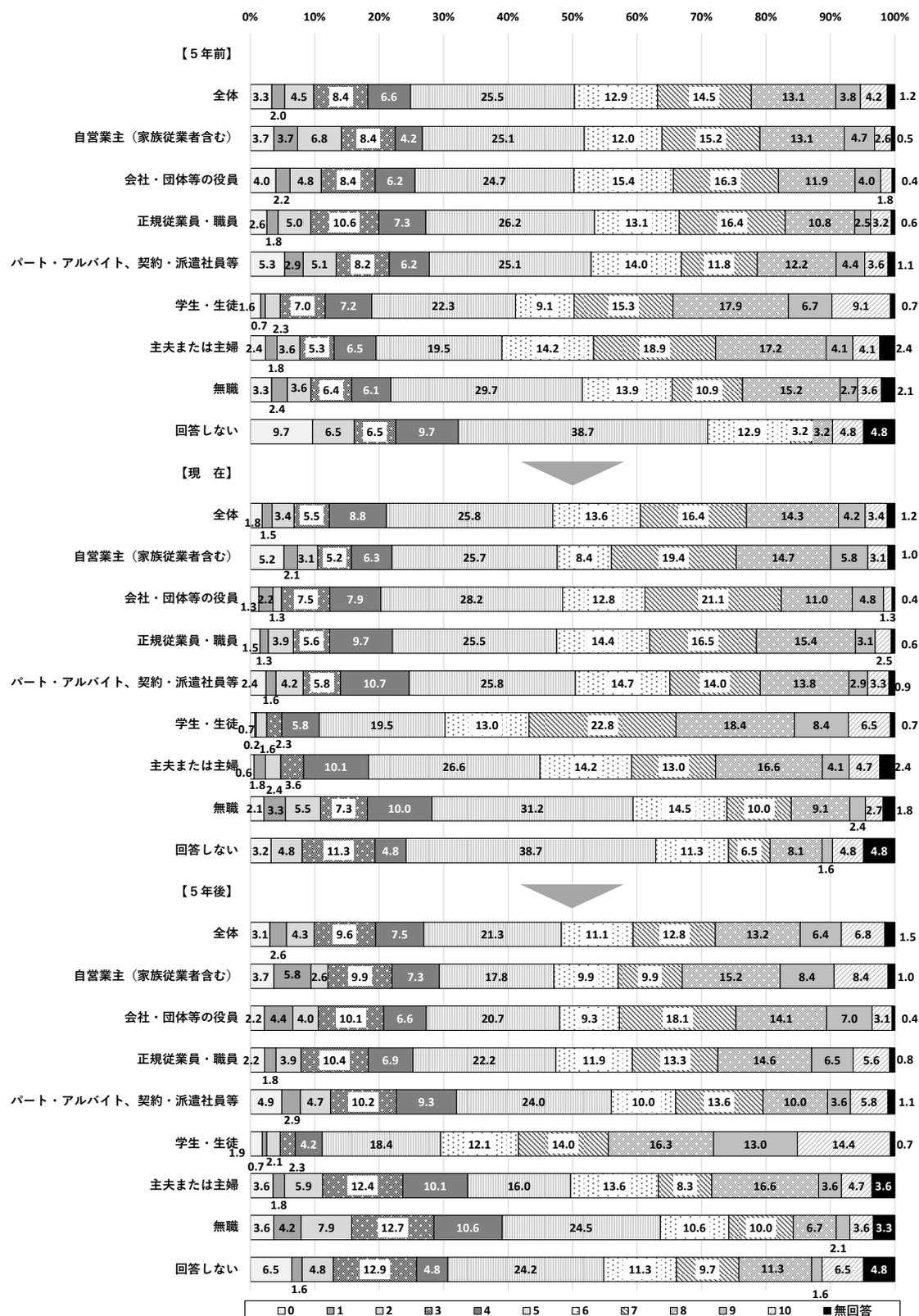


【割合】

「学生・生徒」「主夫または主婦」を除くすべての職業で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「5年後」の「学生・生徒」では69.8%と他と比べて高く、「5年後」の「無職」では「4以下」が39.0%と、他と比べて高い。

図表 13-6-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（職業別）

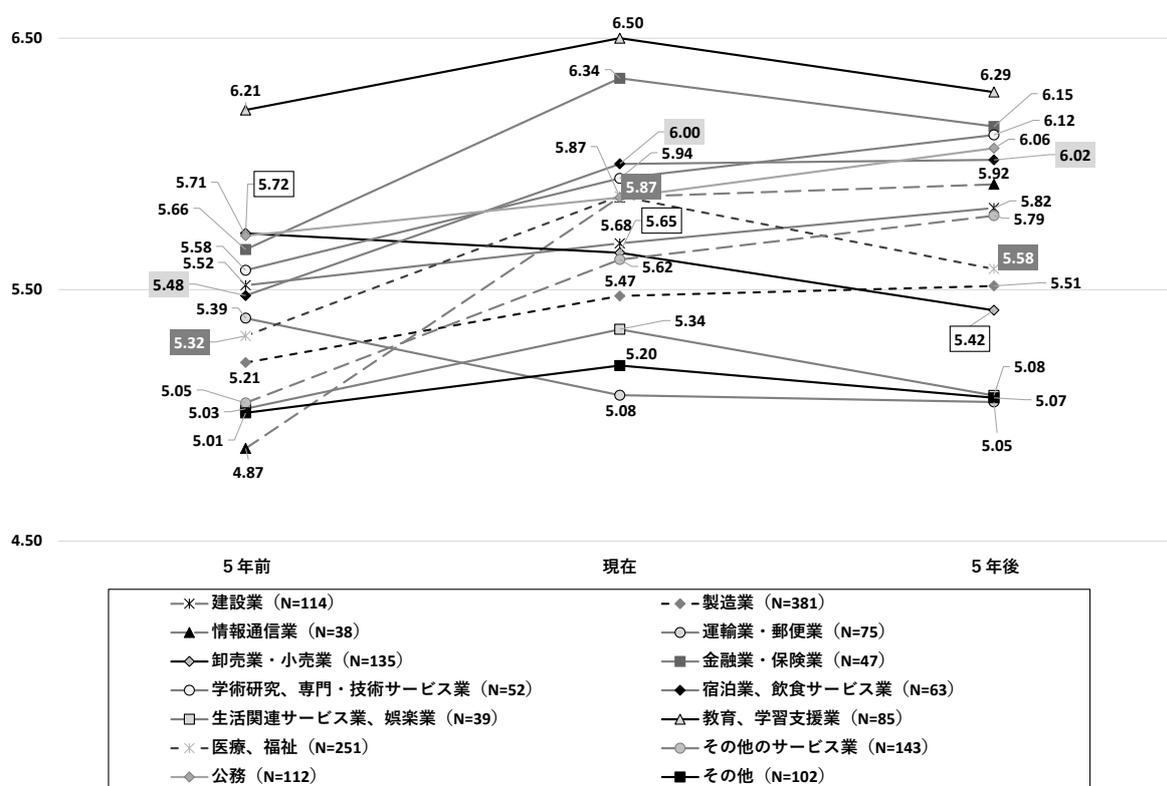


(6) - 2 職業分野別

【平均】

「運輸業・郵便業」「卸売業・小売業」を除くすべての職業分野で、「5年前」から「現在」にかけて上向き傾向となっている。特に、「情報通信業」では、「5年前」(4.87)から「現在」(5.87)と、他に比べて上がり幅が大きい。

図表 13-6-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(職業分野別)

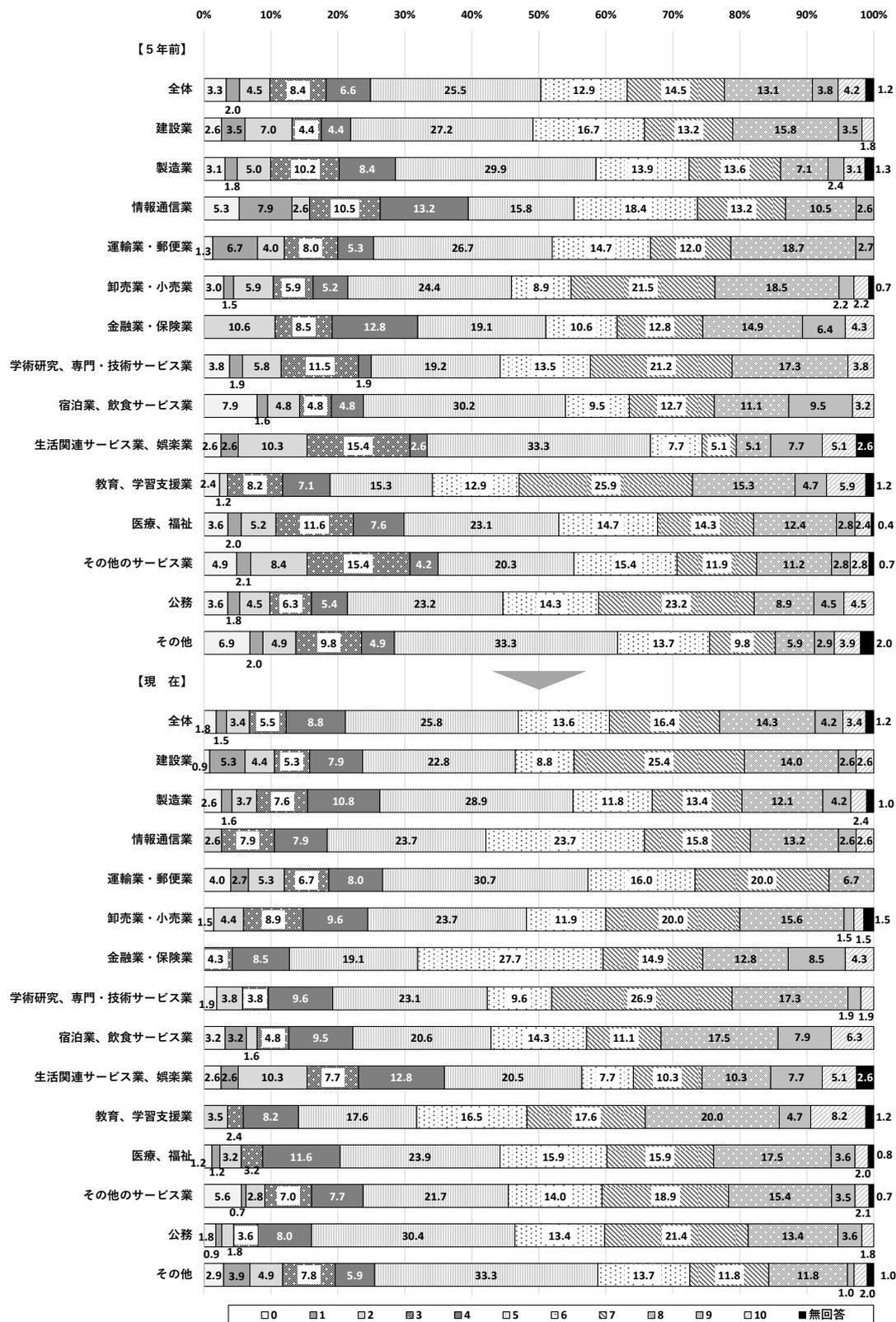


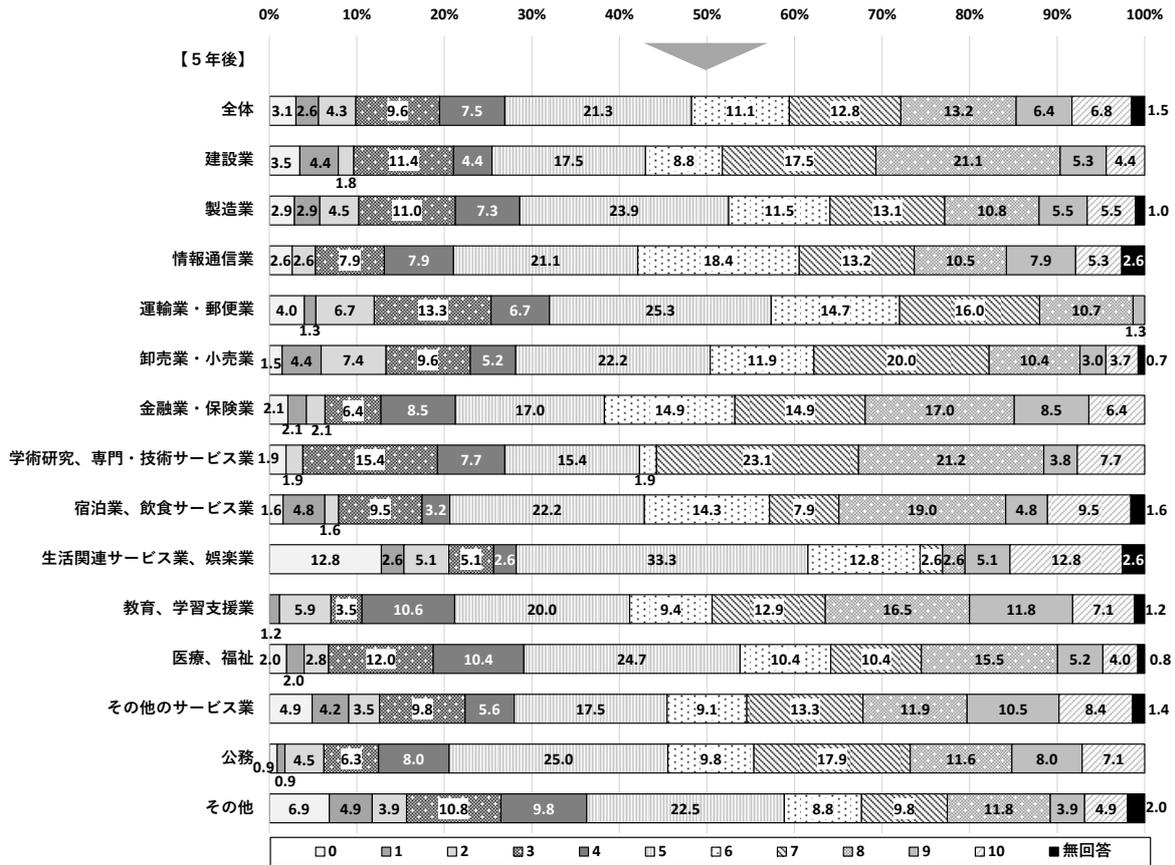
【割合】

「5年前」「現在」の「その他」で「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「5年後」の「金融業・保険業」で6割台と高くなっている。一方、「4以下」を見ると、「5年後」の「運輸業・郵便業」「その他」で3割を超えている。

図表 13-6-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（職業分野別）



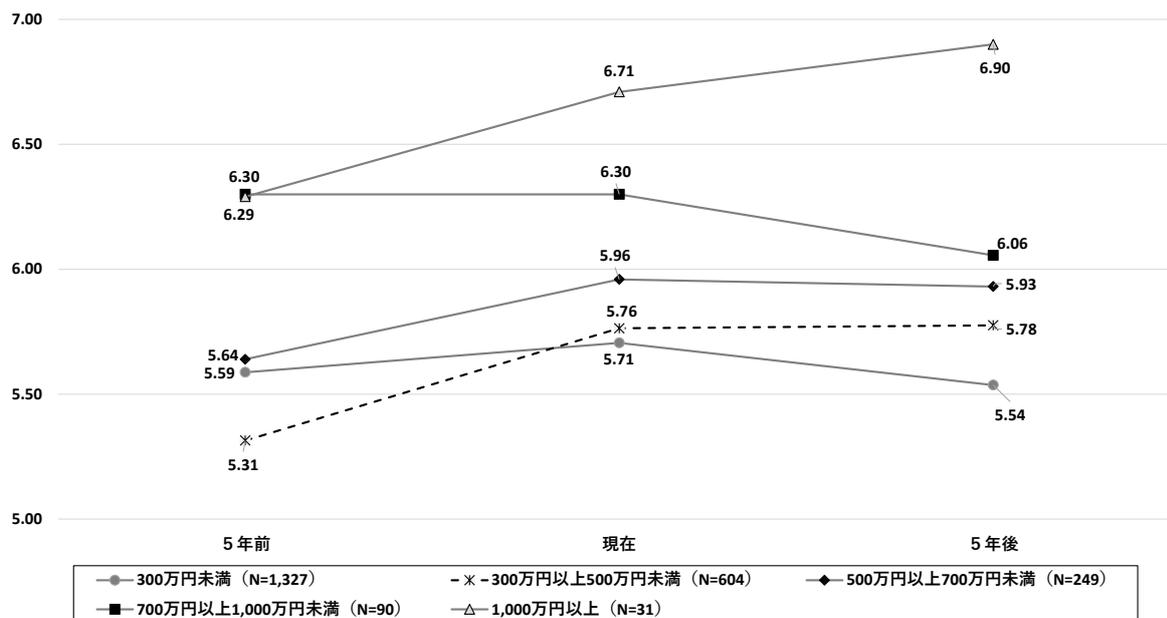


(6) - 3 年収別

【平均】

「300万円以上から500万円未満」「1,000万円以上」を除くすべての年収で、「現在」よりも「5年後」の方が下がっている。「700万円以上1,000万円未満」では、「5年前」から下向き傾向にあり、「5年後」は6.06となっている。

図表 13-6-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(年収別)

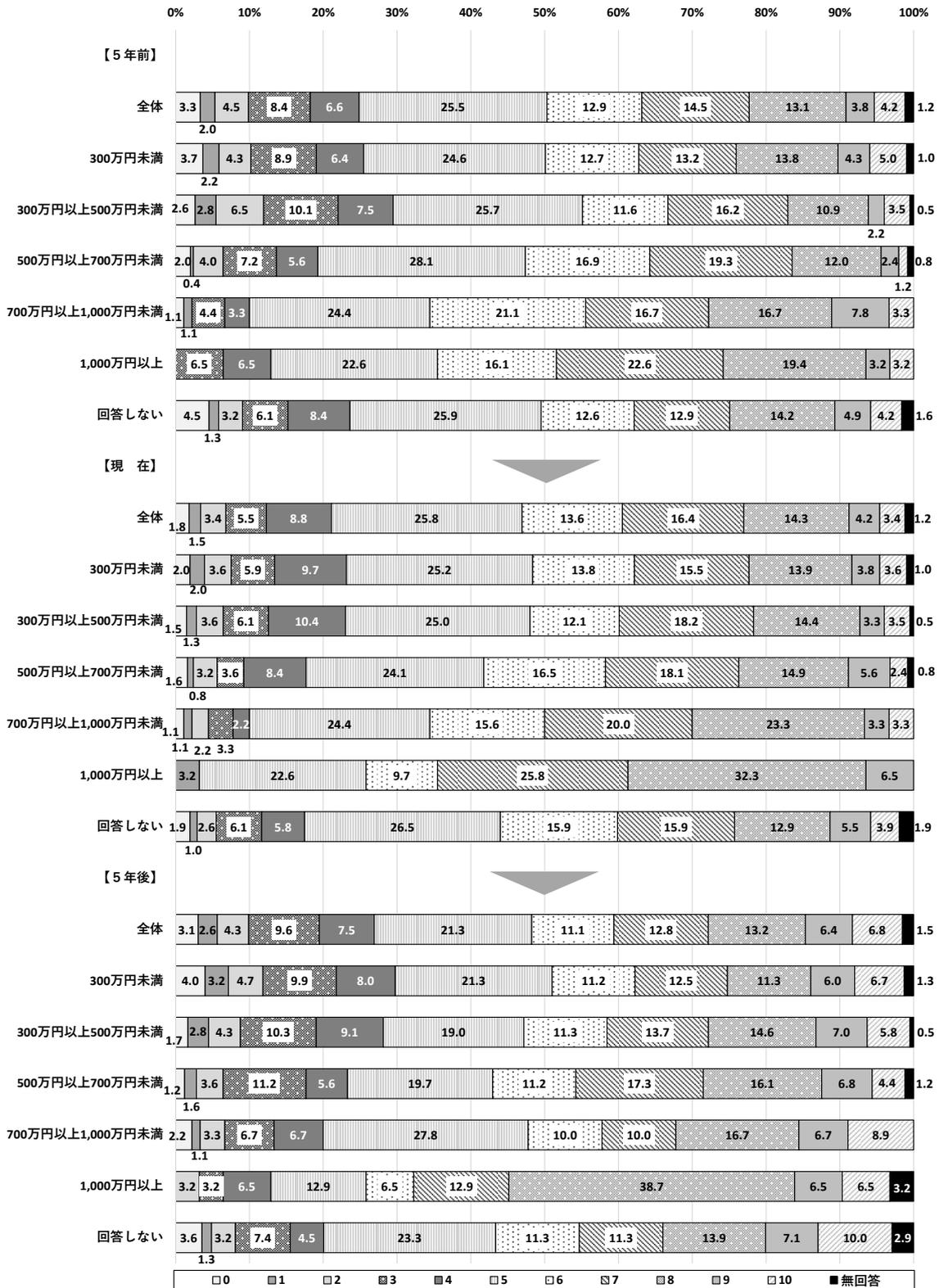


【割合】

「1,000万円以上」を除くすべての年収で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「700万円以上1,000万円未満」では「5年後」が52.3%と、「現在」(65.5%)よりも13.2ポイント低い。一方、「4以下」を見ると、すべての年収で「現在」よりも「5年後」の方が高くなっている。

図表 13-6-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（年収別）

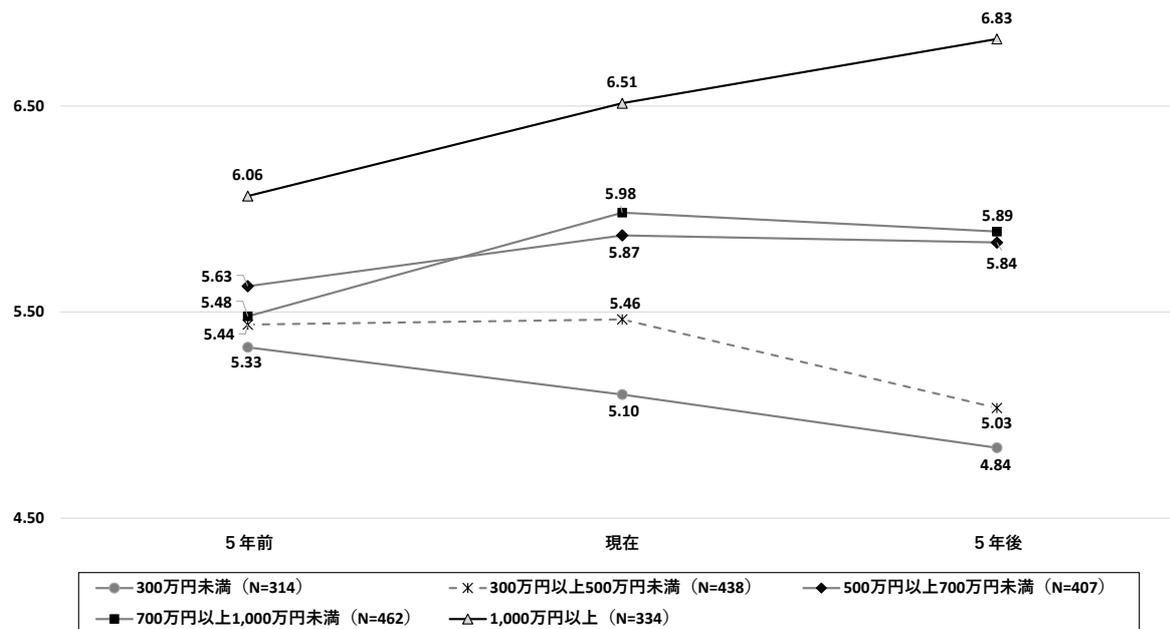


(6) - 4 世帯年収別

【平均】

「300万円未満」では「5年前」の5.33から下向き傾向にあり、「5年後」には4.84となっている。一方、「1,000万円以上」では、「5年前」の6.06から上向き傾向にあり、「5年後」には6.83となっている。

図表 13-6-4-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(世帯年収別)



【割合】

「1,000万円以上」を除くすべての世帯年収で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。一方、「1,000万円以上」では、「5年後」で「8」が最も高い。

「6以上」を見ると、「現在」「5年後」の「500万円以上」では5割を超え、「1,000万円以上」では7割を超えている。

一方、「5年後」の「300万円未満」では「4以下」が40.3%を占め、「6以上」(36.2%)を4.1ポイント上回っている。

図表 13-6-4-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（世帯年収別）

